

「武蔵野市第六次総合情報化基本計画」策定に
あたっての市民アンケート結果
～ICT(情報通信技術)を利用したまちづくり～

武蔵野市
令和元年 8 月

目 次

第1章 調査の概要、調査結果の総括	- 3 -
(1) 調査目的.....	- 3 -
(2) 調査概要.....	- 3 -
第2章 調査結果	- 4 -
(1) 基礎情報.....	- 4 -
問1 性別(単一回答形式).....	- 4 -
問2 年齢(単一回答形式).....	- 4 -
問3 日常生活で利用している情報通信機器(複数回答形式)	- 6 -
問4 武蔵野市が提供している広報媒体のうち、よく利用されるもの(複数回答形式).....	- 9 -
問5 情報化が進展することによって生じる影響(複数回答形式).....	- 13 -
(2) 重点的に取り組むべき情報化施策.....	- 16 -
問6 情報化に注力すべきと考える分野(単一回答形式)	- 16 -

報告書の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・加重平均値は、小数点以下第3位を四捨五入して算出しています。
- ・本文中の「単一回答形式」、「複数回答形式」、「自由回答形式」は以下の略称となります。
 - 単一回答形式: 選択肢のなかから1つを選択
 - 複数回答形式: 選択肢のなかから複数を選択
 - 自由回答形式: 文字や数値を解答欄に記述
- ・図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

第1章 調査の概要、調査結果の総括

(1) 調査目的

武蔵野市では、「武蔵野市第六期長期計画」に基づき、市の ICT(情報通信技術)に関する施策の方向性を示す「武蔵野市第六次総合情報化基本計画(計画期間令和 2 年度～4 年度)」の策定を行っています。

本アンケート調査は、この新たな計画を策定するための、市民ニーズを把握する基礎資料として活用し、今後の ICT(情報通信技術)を使ったまちづくりの方向性や課題、施策の優先度を検討するために実施するものです。

(2) 調査概要

■調査対象・配布方法

・18 歳以上の市民から約 3,000 人の方を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収

※過去のアンケート結果等から、若年層におけるアンケート回収率が低いことに留意し、年齢別各層(10 歳区切り)での回収後のサンプルが武蔵野市の人口構成比となるように対象者数を決定しています。

■回収状況

年齢	配布数	回収数	回収率
18～19歳	101	21	20.8%
20～29歳	749	110	14.7%
30～39歳	579	146	25.2%
40～49歳	539	147	27.3%
50～59歳	336	153	45.5%
60～69歳	255	104	40.8%
70歳以上	441	169	38.3%
未回答	—	4	—
合計	3,000	854	28.5%

※分析のための有効回答数、武蔵野市の年代別人口比率と大きな乖離の無いサンプル数を収集することができました。

■調査期間

・令和元年 7 月 22 日～8 月 5 日

参考: 前回調査概要

・調査期間

平成 28 年 10 月～11 月

・回答率

29.7%(配布数約 9,000 通、有効回答数 2,667 通)

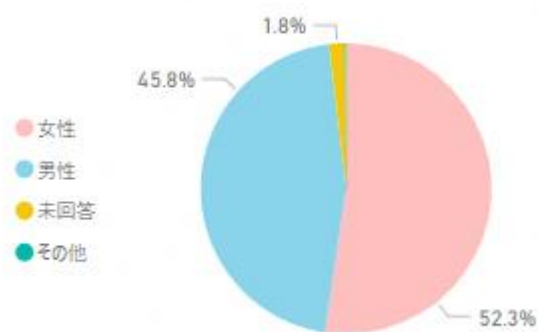
第2章 調査結果

(1) 基礎情報

問1 性別(単一回答形式)

「問1 性別をお答えください。」は、「男性」が 45.8%(391 人)、「女性」が 52.3%(447 人)でとなりました。

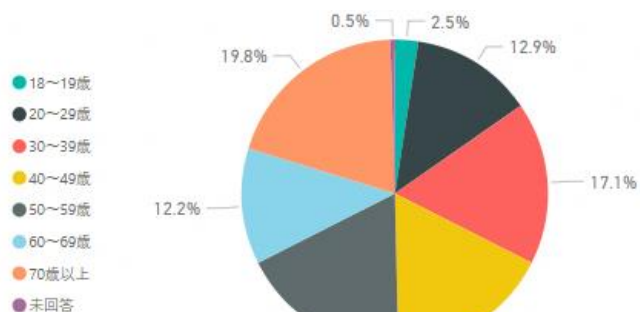
性別	回収数	割合
男性	391	45.8%
女性	447	52.3%
その他	1	0.1%
未回答	15	1.8%



問2 年齢(単一回答形式)

「問2 年齢をお答えください。」は、「70 歳以上」が 19.8%で最も高く、「18～19 歳」が 2.5%で最も低い結果となりました。

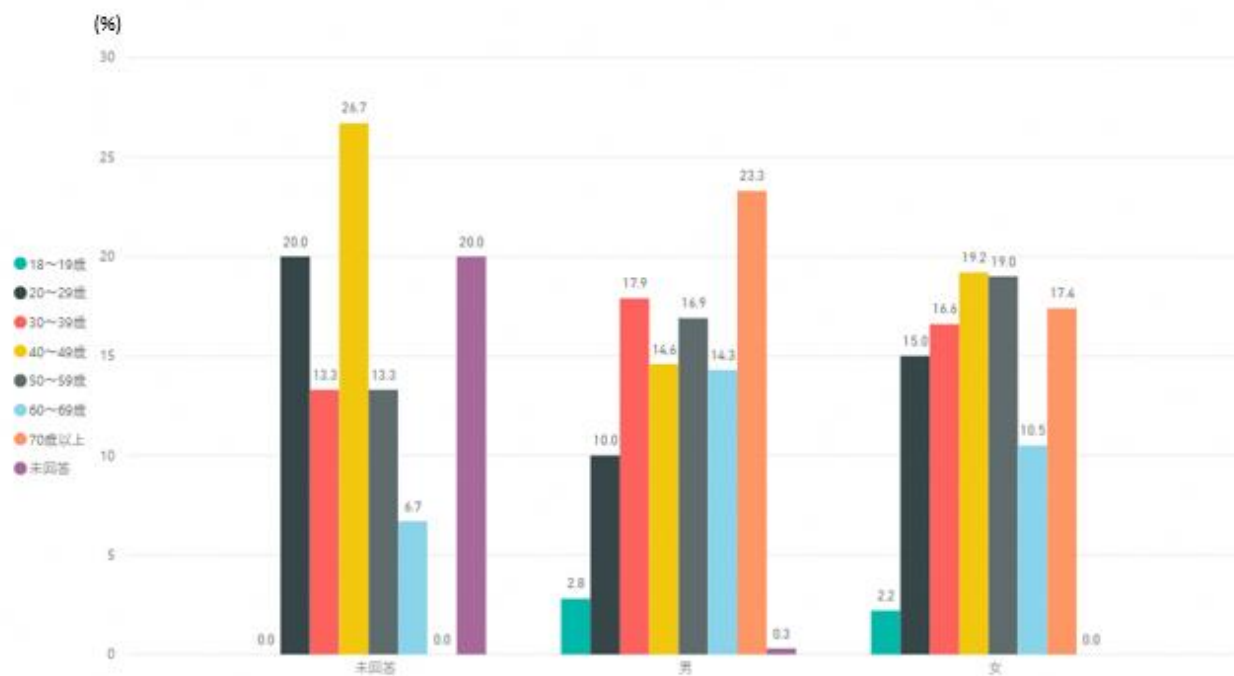
年齢	回収数	割合
18～19歳	21	2.5%
20～29歳	110	12.9%
30～39歳	146	17.1%
40～49歳	147	17.3%
50～59歳	153	18.0%
60～69歳	104	12.2%
70歳以上	169	19.8%
未回答	4	0.5%



■クロス集計

「70歳以上」の「男性」の回答率が23.3%で最も高く、「18～19歳」までの「女性」の回答率が2.2%で最も低い結果となりました。

年齢	男性		女性		その他		未回答	
	回収数	割合	回収数	割合	回収数	割合	回収数	割合
18～19歳	11	2.8%	10	2.2%	0	—	0	—
20～29歳	39	10.0%	67	15.0%	1	100.0%	3	20.0%
30～39歳	70	17.9%	74	16.6%	0	—	2	13.3%
40～49歳	57	14.6%	86	19.2%	0	—	4	26.7%
50～59歳	66	16.9%	85	19.0%	0	—	2	13.3%
60～69歳	56	14.3%	47	10.5%	0	—	1	6.7%
70歳以上	91	23.3%	78	17.4%	0	—	0	—
未回答	1	0.3%	0	—	0	—	3	20.0%

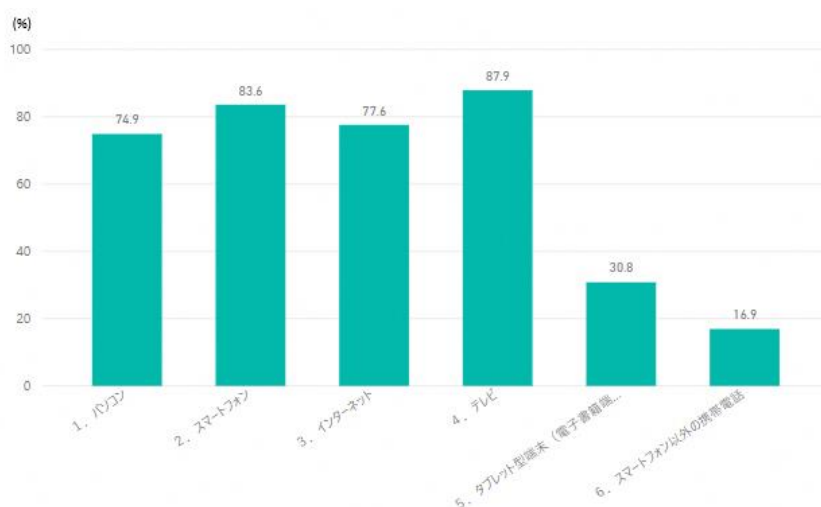


問3 日常の生活で利用している情報通信機器(複数回答形式)

「問3 日常の生活で利用している情報通信機器ものをお答えください。」は、「4. テレビ」が 90.0%で最も高く、「6. スマートフォン以外の携帯電話」が 17.3%で最も低い結果となりました。

「1. パソコン」、「2. スマートフォン」、「3. インターネット」、「4. テレビ」が 70%以上を推移しており、情報通信機器の普及率が高いことがわかります。「5. タブレット型端末(電子書籍端末含む)」は普及率が低いことがわかります。

日常生活で利用しているもの	利用している	割合
1. パソコン	640	76.7%
2. スマートフォン	714	85.6%
3. インターネット	663	79.5%
4. テレビ	751	90.0%
5. タブレット型端末(電子書籍端末含む)	263	31.5%
6. スマートフォン以外の携帯電話	144	17.3%



■クロス集計結果(性別)

男女による情報通信機の利用率に大きな差は無い結果となりました。

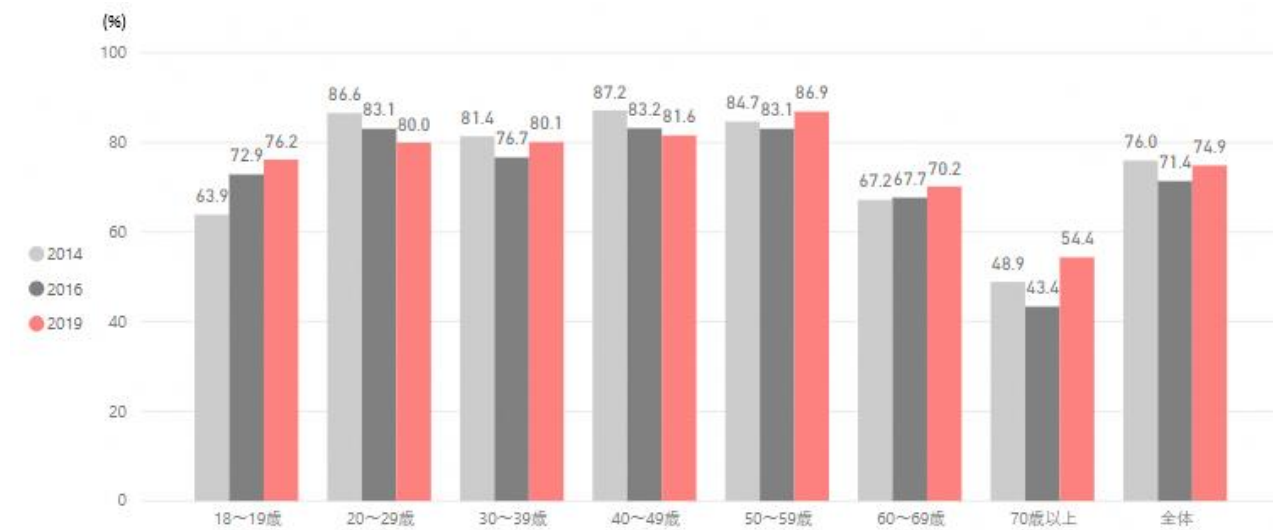


経年比較による分析 ～年代別 情報機器ごとの「利用している」の割合～

【1. パソコン】

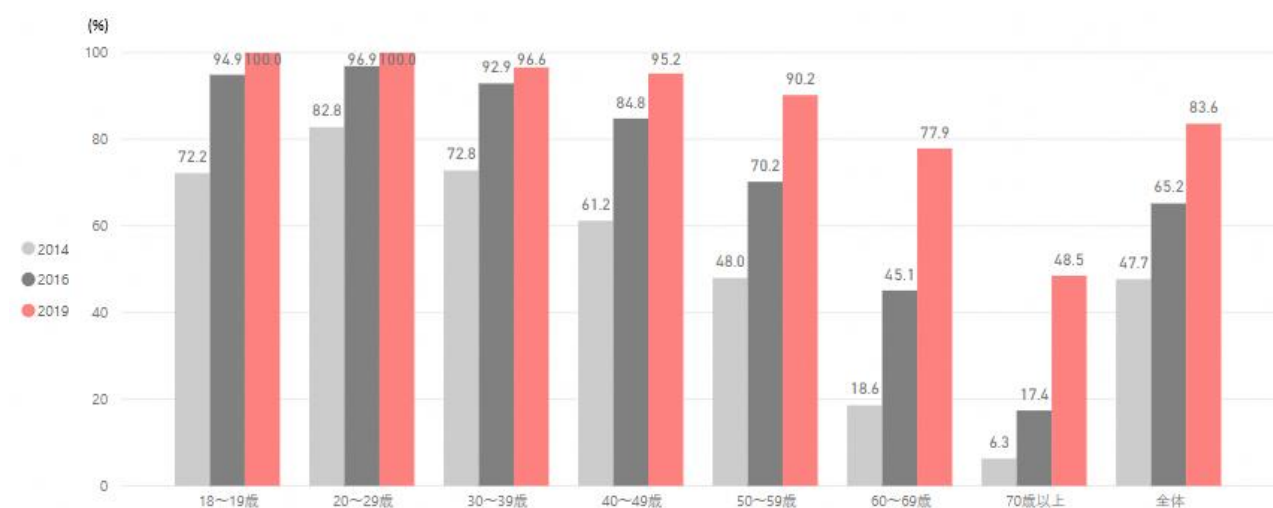
「70 歳以上」の情報通信機の利用率が最も伸びています。

その他の年代には、大きな経年の変化がない結果となりました。



【2. スマートフォン】

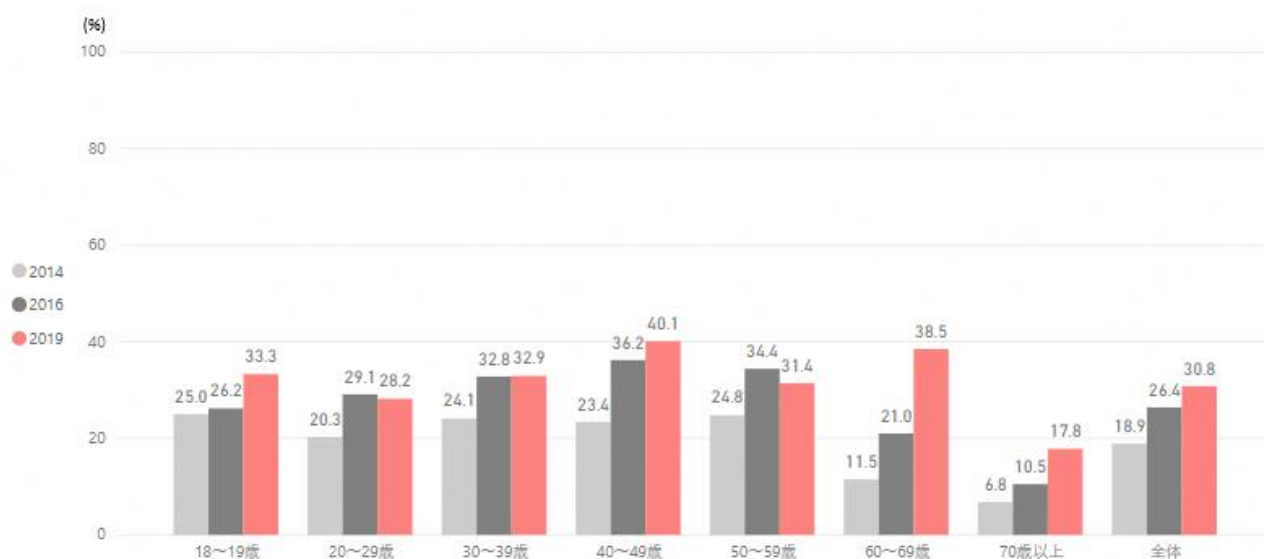
すべての年代でスマートフォンの利用率が伸びています。特に「18～19 歳」、「20～29 歳」、「30～39 歳」、「40～49 歳」の利用率は 95%を超えており、普及率が高いです。また、「50～59 歳」、「60～69 歳」、「70 歳以上」の年齢層は、過去年度と比較して増加率が高いことがわかります。



【5. タブレット端末(電子書籍端末含む)】

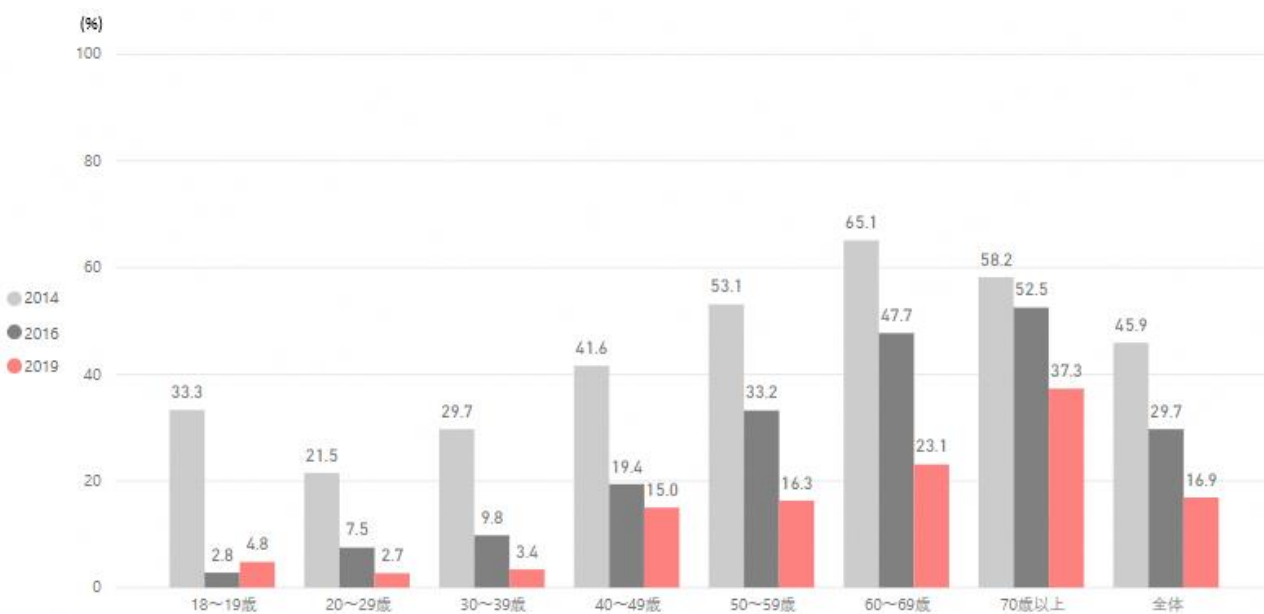
「60～69 歳」のタブレット端末(電子書籍端末含む)の利用率が最も伸びています。

スマートフォンと比べると、利用率の低さが目立つ結果となりました。



【6. スマートフォン以外の携帯電話】

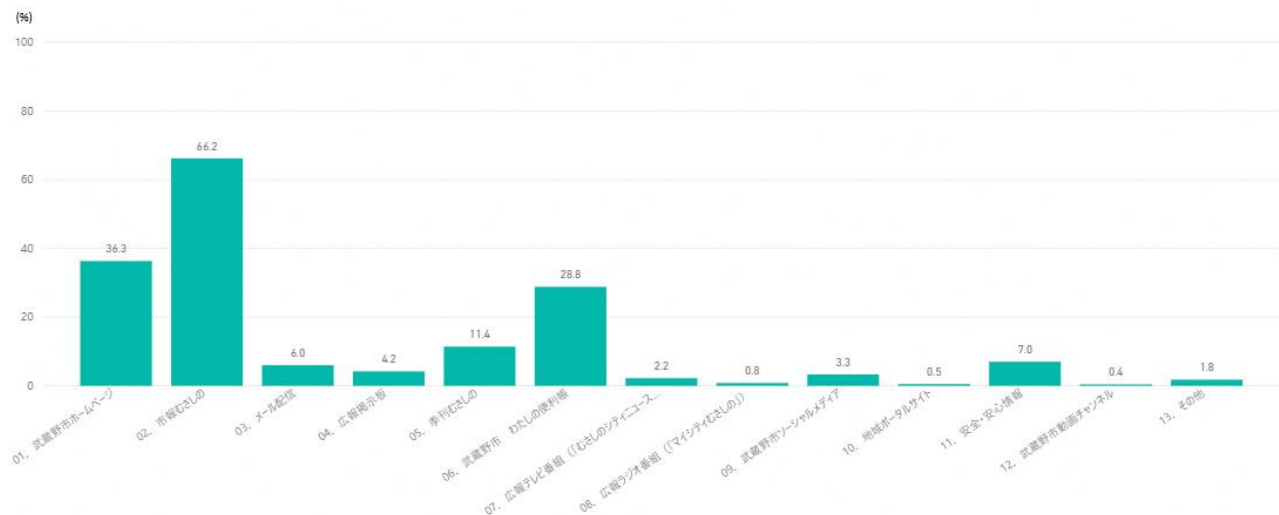
すべての年代でスマートフォン以外の携帯電話の利用率が過去年度と比較して減少している結果となりました。



問4 武蔵野市が提供している広報媒体のうち、よく利用されるもの（複数回答形式）

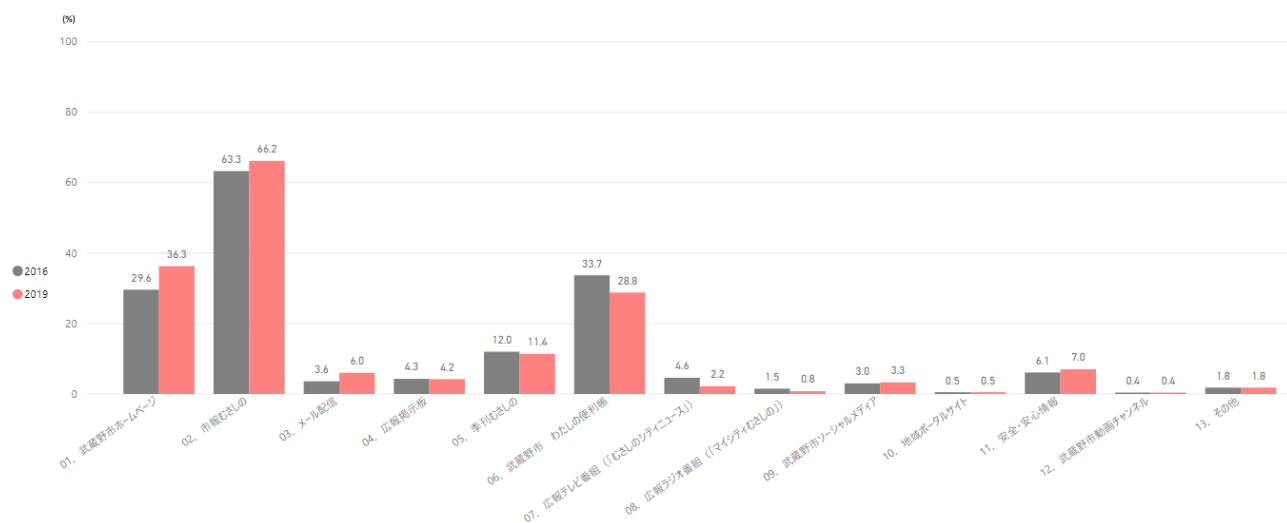
「問4 武蔵野市が提供している広報媒体のうち、あなたがよく利用されるものはどれですか。」は、「市報むさしの」が 66.2%と最も高く、「武蔵野市動画チャンネル」が 0.4%と最も低い結果となりました。

広報媒体としてよく利用しているもの	よく利用している	割合
01. 武蔵野市ホームページ	310	36.3%
02. 市報むさしの	565	66.2%
03. メール配信	51	6.0%
04. 広報掲示板	36	4.2%
05. 季刊むさしの	97	11.4%
06. 武蔵野市 わたしの便利帳	246	28.8%
07. 広報テレビ番組（「むさしのシティニュース」）	19	2.2%
08. 広報ラジオ番組（「マイシティむさしの」）	7	0.8%
09. 武蔵野市ソーシャルメディア	28	3.3%
10. 地域ポータルサイト	4	0.5%
11. 安全・安心情報	60	7.0%
12. 武蔵野市動画チャンネル	3	0.4%
13. その他	15	1.8%



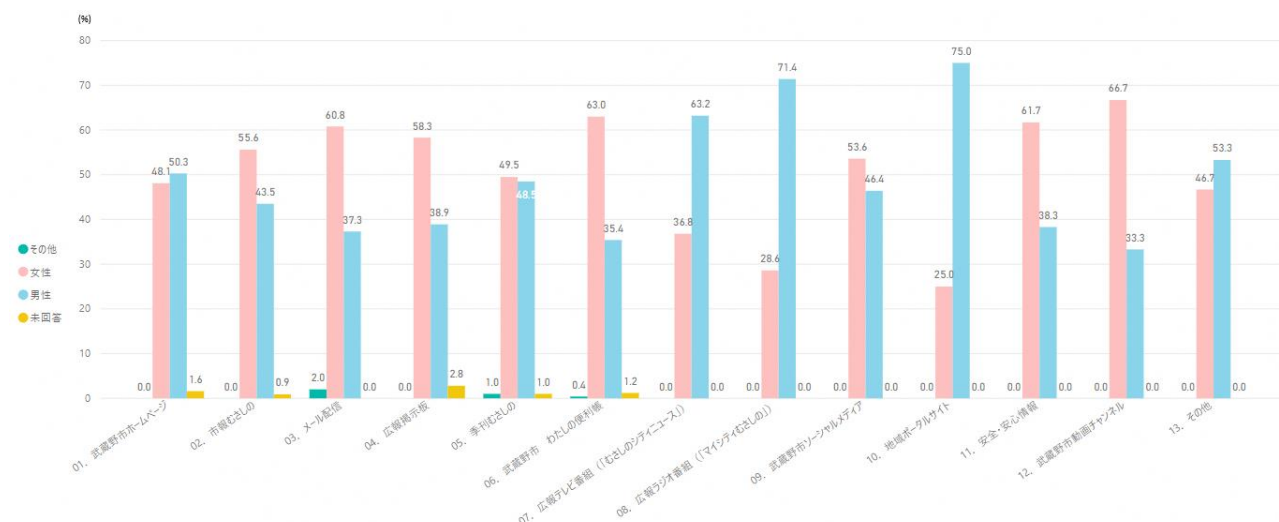
経年比較による分析 ～広報媒体毎の「よく利用している」割合～

「武蔵野市ホームページ」の利用率が過去年度と比較して最も増加し、「武蔵野市 わたしの便利帳」の利用率が最も減少する結果となりました。



■クロス集計（性別）

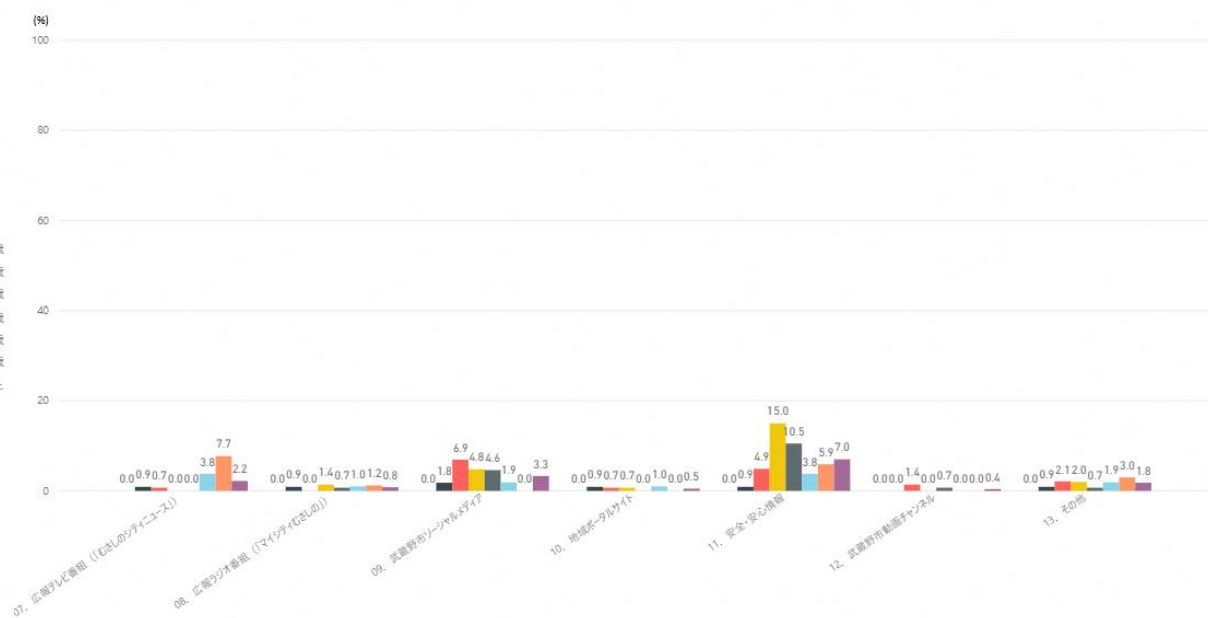
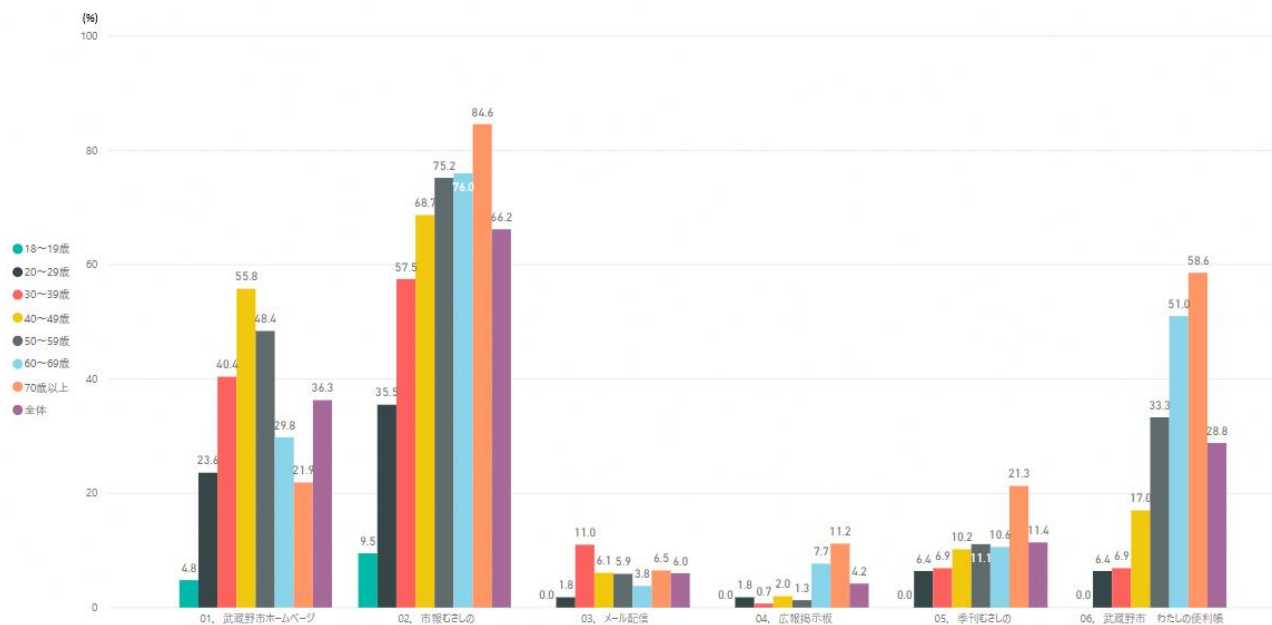
「市報むさしの」、「武蔵野市 わたしの便利帳」は、女性のよく利用している割合が高い結果となりました。



■クロス集計(年齢)

「武蔵野市ホームページ」は、「40～49 歳」の利用率が 55.8%と最も高く、「市報むさしの」、「武蔵野市 わたしの便利帳」は、「70 歳以上」の利用率が 84.6%、58.6%と最も高い結果となりました。

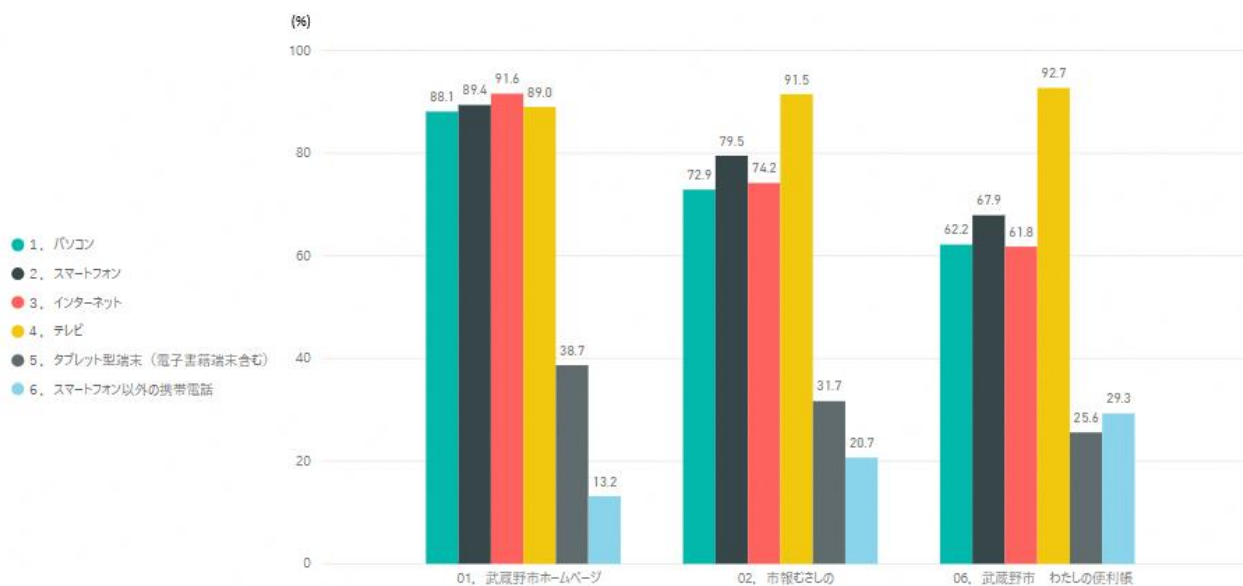
紙媒体は、高齢者の利用率が高いことがわかります。



■クロス集計(情報機器)

「武蔵野市ホームページ」は、パソコン、スマートフォンなどの情報機器の利用率が高く、「市報むさしの」、
「武蔵野市 わたしの便利帳」は、パソコン、スマートフォン、インターネットの利用率が低い結果となりました。

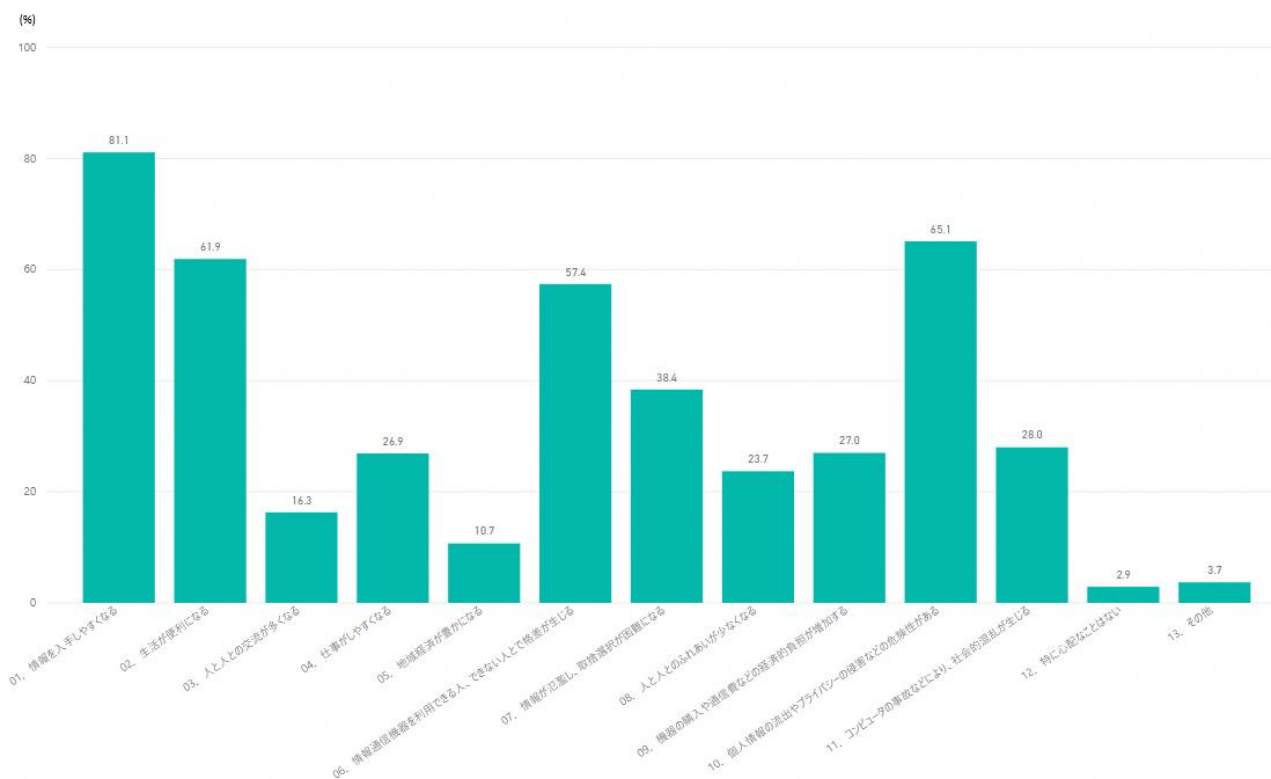
紙媒体の広報媒体を利用している方は、高齢者の利用率が高く、情報機器の利用率が低いことがわかります。



問5 情報化が進展することによって生じる影響(複数回答形式)

「問5 情報化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。」は、「必要な情報が入手しやすくなる」が 81.1%で最も高く、「特に心配なことはない」が 2.9%で最も低い結果となりました。

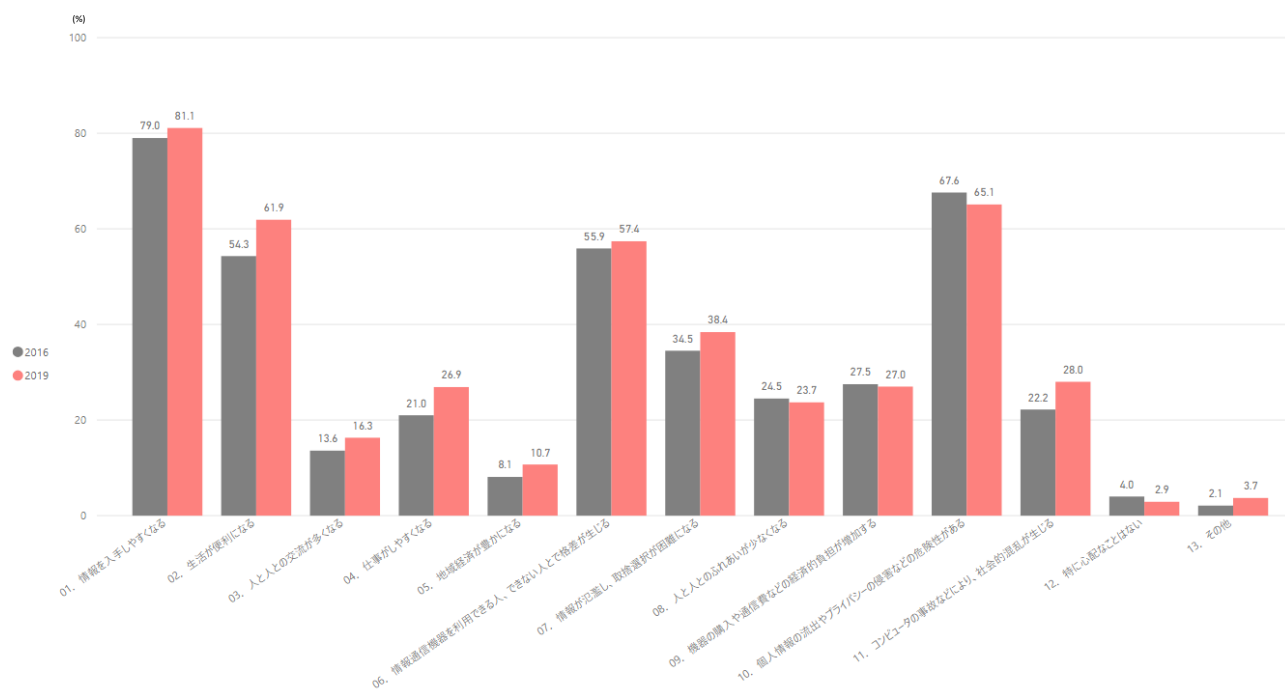
情報化が進展することによって生じる影響	影響がある	割合
01. 必要な情報が入手しやすくなる	693	81.1%
02. 生活が便利になる	529	61.9%
03. 人と人との交流が多くなる	139	16.3%
04. 仕事がしやすくなる	230	26.9%
05. 地域経済が豊かになる	91	10.7%
06. 情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる	490	57.4%
07. 情報が氾濫し、取捨選択が困難になる	328	38.4%
08. 人と人とのふれあいが少なくなる	202	23.7%
09. 機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する	231	27.0%
10. 個人情報の流出やプライバシーの侵害、コンピュータウイルスなどの危険性がある	556	65.1%
11. コンピュータの事故などにより、社会的混乱が生じる	239	28.0%
12. 特に心配なことはない	25	2.9%
13. その他	32	3.7%



経年比較による分析 ～情報化進展によって生じる影響毎の「影響がある」割合～

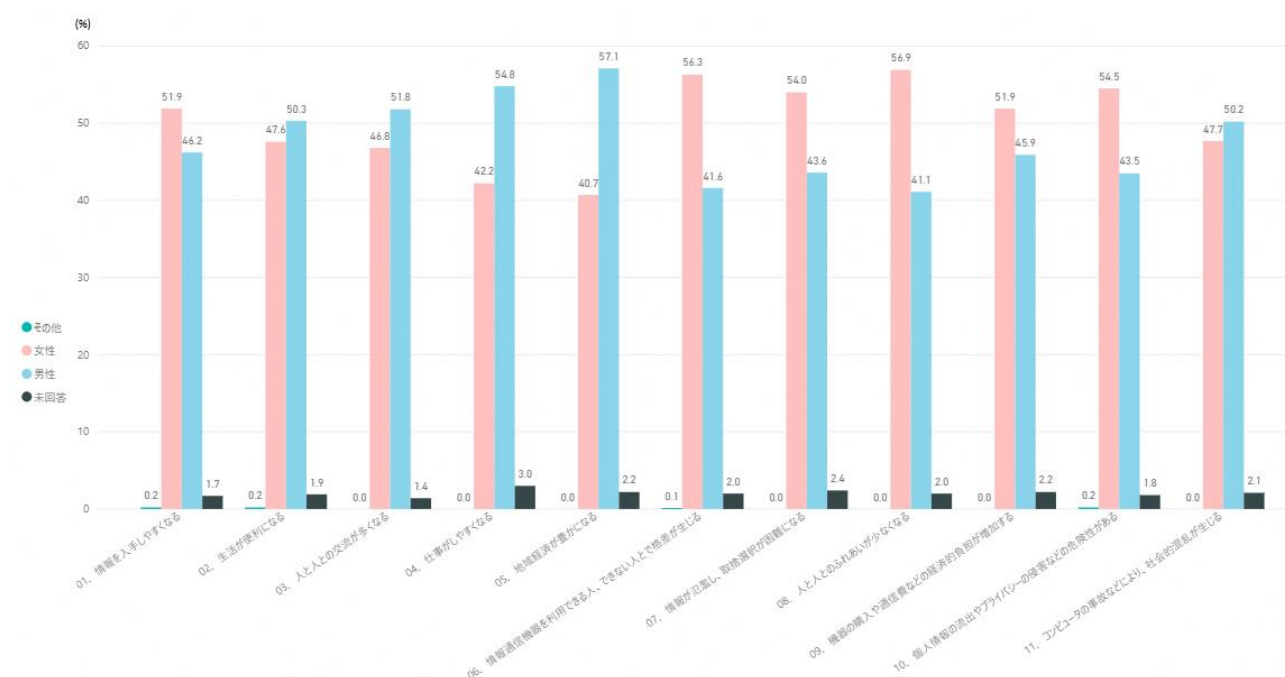
「生活が楽になる」の回答が過去年度と比較すると最も増加しています。

情報化進展によるメリットがあるという選択肢は、すべて回答が増加しており、情報化進展によるメリットを実感している方が増えていることがわかります。一方で、「情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる」などのデメリットの選択肢も回答が増加しており、不安を感じている方も増えていることがわかります。



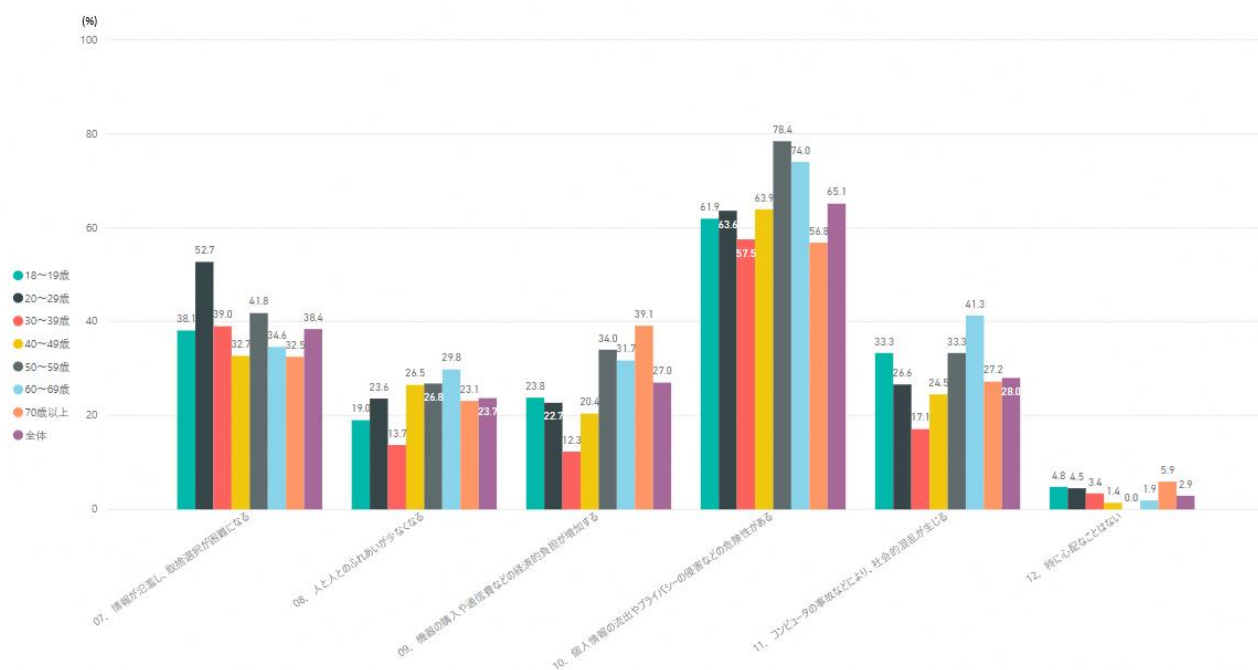
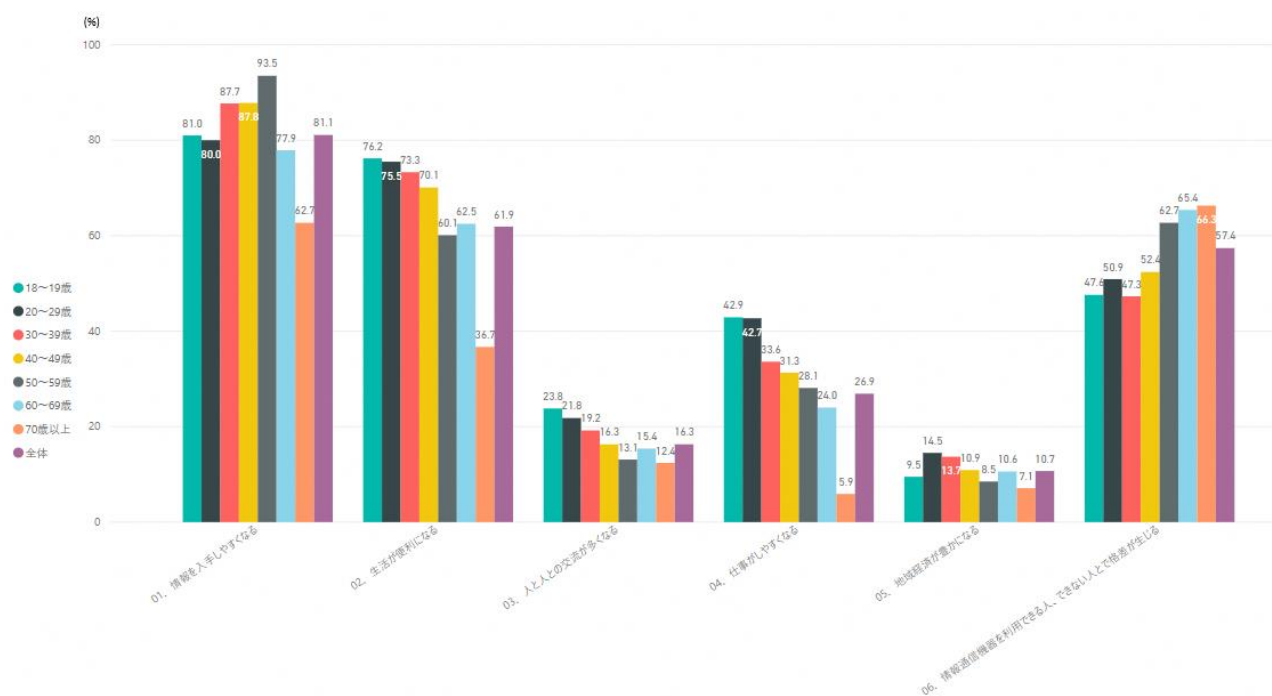
■クロス集計(性別)

情報化進展によるメリットがあるという回答に男性が多く、情報化進展によるデメリットがあるという回答に女性が多い結果となりました。



■クロス集計(年齢)

「70歳以上」が情報化進展によるメリットを最も影響として感じていない結果となりました。



(2) 重点的に取り組むべき情報化施策

問6 情報化に注力すべきと考える分野(単一回答形式)

加重平均値による分析

○ポイント(加重平均値)の算

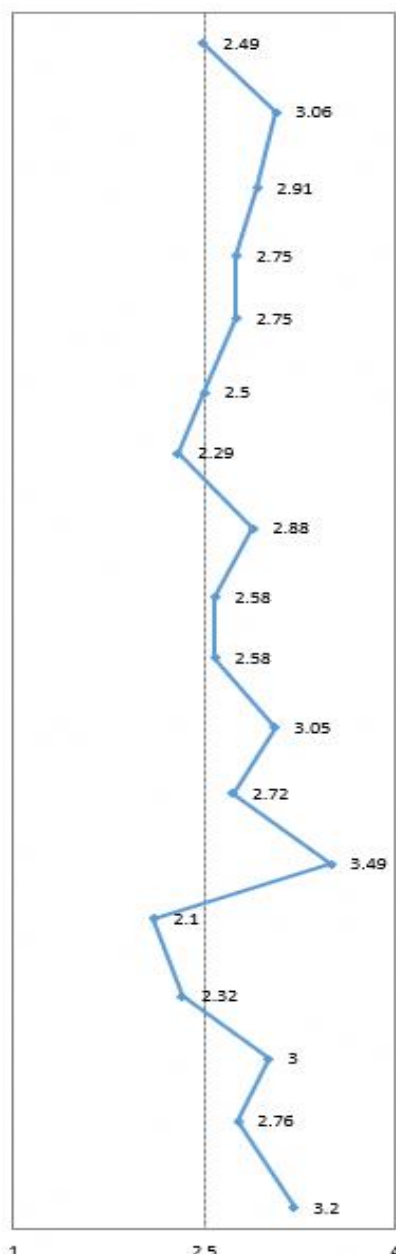
出について

- ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に加点(1~4点)し、それぞれの項目ごとのポイント(加重平均値)を算出

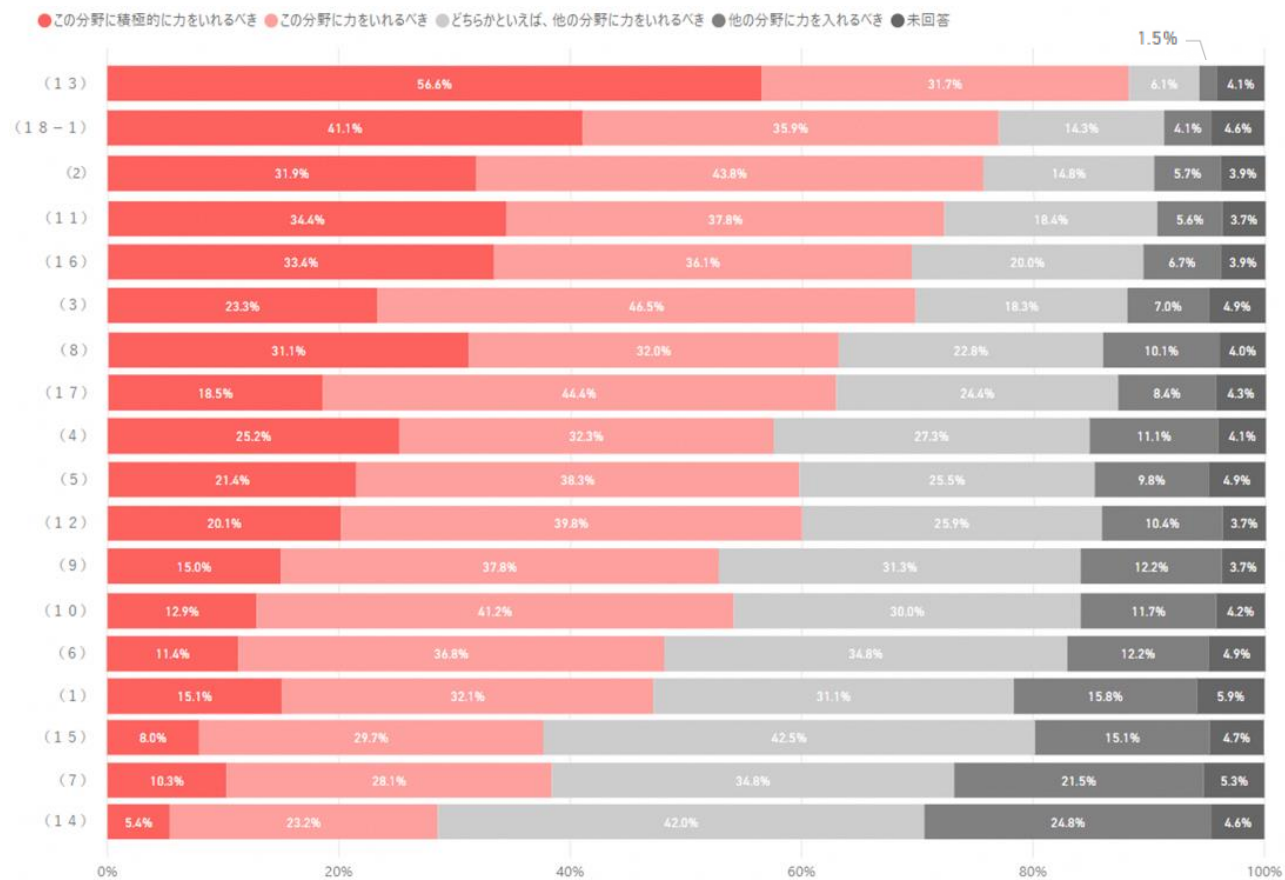
選択肢	加点
この分野に積極的に力を入れるべき	+ 4
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	+ 3
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	+ 2
他の分野に力を入れるべき	+ 1
不明・無回答	集計対象外

「(13)災害対策の強化」、「(18-1)手続きのオンライン化」、「(2)ウェブアクセシビリティ」の3施策の加重平均値が高く、市民ニーズの特に高い施策という結果になりました。「(13)災害対策の強化」は突出して市民ニーズが高く、防災への課題意識の高さが伺えます。

- (1) 市政情報に関する総合アプリ(LINE等)を設け情報発信することで、市民が一元的に情報を収集することができる仕組みづくり
- (2) 市及び市関連ウェブページについて、高齢者や障害者の方などを含め誰もが利用しやすいように利便性の向上を図る取組み
- (3) ICT(情報通信技術)を活用して、妊娠期から子育て期までの情報を市が一元的に把握し、切れ目のない相談支援業務の充実を図る取組み
- (4) 学校教育において、現在、一校当たり児童・生徒用のタブレットを40台設置しているが、さらにパソコンやタブレットなどの機器を導入し、ICT(情報通信技術)環境整備の充実を図る取組み
- (5) SNSを活用して、児童生徒からの相談・支援を受けることができる仕組みづくり
- (6) これまでの地域自由大学などに関する情報発信に加え、生涯学習のポータルサイトを開設し、利用者が必要な情報をより簡単に入手できる仕組みづくり
- (7) 民俗資料・歴史公文書の公開資料について、デジタル化を進める取組み
- (8) 武蔵野プレイスや吉祥寺図書館だけでなく中央図書館にも館内Wi-Fi環境を導入し、全ての図書館で利用者が自分の情報通信機器を使って情報アクセスできる環境を整備する取組み
- (9) クリーンセンターにおけるICT(情報通信技術)を使ったエネルギー効率の「見える化」の取組みを、他の公共施設においても実施することにより、環境に配慮したエネルギー利用をより可能とする仕組みづくり
- (10) 新たな環境啓発施設を設置することから、現在実施しているホームページやごみアプリを使ったごみの減量、選別などの情報発信に加え、ICT(情報通信技術)を活用した環境情報の発信も充実していく取組み
- (11) 通学路などの生活道路の安全性を高めるために、交通量などのデータを解析活用し、標識設置等の整備を行う取組み
- (12) 道路や公園の遊具などにおける不具合について、SNSやアプリなどのICT(情報通信技術)を使って、いつでも情報提供を受け、迅速に解決するための仕組みづくり
- (13) 防災対策を強化するために、災害時の情報収集・発信のICT(情報通信技術)化を進める取組み
- (14) オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、まちの魅力等の情報発信を強化する取組み
- (15) 市の統計情報(人口、世帯数、商業・工業統計など)に関するオープンデータを拡大し、誰でも容易に収集・活用できるようにする取組み
- (16) 市役所の窓口などでICT(情報通信技術)を活用し、紙による申請からタブレット等による申請に変更することで手続きの簡易化を図ったり、混雑状況をインターネットで把握できる仕組みづくり
- (17) 外国語通訳サービスを導入し、市役所の窓口などで外国人とのコミュニケーションを取りやすくする取組み
- (18-1) 児童手当の現況届の申請が自宅のパソコンからできるのと同じように、自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きを行うことのできる仕組みづくり



加重平均値の算出結果の高い順



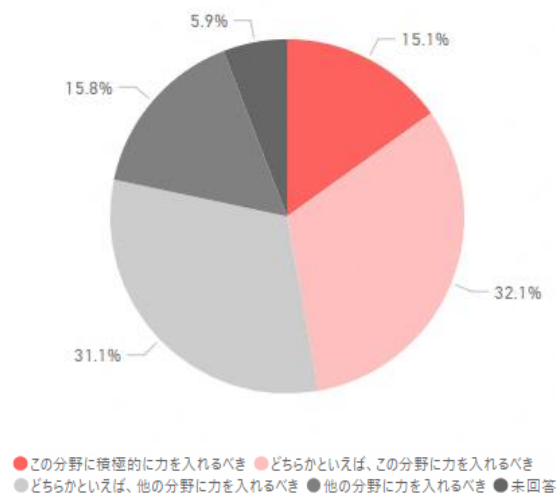
施策名	この分野に積極的に力を入れるべき	どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	他の分野に力を入れるべき	未回答
(13) 防災対策を強化するために、災害時の情報収集・発信のICT化を進める取組み	56.6%	31.7%	6.1%	1.5%	4.1%
(18-1) 自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きを行うことのできる仕組みづくり	41.1%	35.9%	14.3%	4.1%	4.6%
(2) 市及び市関連ウェブページについて、利便性の向上を図る取組み	31.9%	43.8%	14.8%	5.7%	3.9%
(11) 通学路などの安全性を高めるために、交通量などのデータを解析活用し、標識設置等の整備を行う取組み	34.4%	37.8%	18.4%	5.6%	3.7%
(16) 窓口などでICTを活用し、手続きの簡易化や、混雑状況を把握できる仕組みづくり	33.4%	36.1%	20.0%	6.7%	3.9%
(3) ICTを活用して、切れ目のない相談支援業務の充実を図る取組み	23.3%	46.5%	18.3%	7.0%	4.9%
(8) 中央図書館にも館内Wi-Fi環境を導入し、利用者が情報アクセスできる環境を整備する取組み	31.1%	32.0%	22.8%	10.1%	4.0%
(17) 外国語通訳サービスを導入し、市役所の窓口などで外国人とのコミュニケーションを取りやすくする取組み	18.5%	44.4%	24.4%	8.4%	4.3%
(4) 学校教育において、パソコンやタブレットなどの機器を導入し、ICT環境整備の充実を図る取組み	25.2%	32.3%	27.3%	11.1%	4.1%
(5) SNSを活用して、児童生徒からの相談・支援を受けることができる仕組みづくり	21.4%	38.3%	25.5%	9.8%	4.9%
(12) 道路や公園の遊具などの不具合について、ICTを使って、情報提供を受け、解決するための仕組みづくり	20.1%	39.8%	25.9%	10.4%	3.7%
(9) ICTを使ったエネルギー効率の「見える化」の取組み	15.0%	37.8%	31.3%	12.2%	3.7%
(10) ホームページやごみアプリを使った情報発信に加え、ICTを活用した環境情報の発信も充実していく取組み	12.9%	41.2%	30.0%	11.7%	4.2%
(6) 生涯学習のポータルサイトを開設し、利用者が必要な情報をより簡単に入手できる仕組みづくり	11.4%	36.8%	34.8%	12.2%	4.9%
(1) 市政情報に関する総合アプリ(LINE等)を設け、情報を収集することができる仕組みづくり	15.1%	32.1%	31.1%	15.8%	5.9%
(15) 市の統計情報に関するオープンデータを拡大し、誰でも容易に収集・活用できるようにする取組み	8.0%	29.7%	42.5%	15.1%	4.7%
(7) 民俗資料・歴史公文書の公開資料について、デジタル化を進める取組み	10.3%	28.1%	34.8%	21.5%	5.3%
(14) オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、まちの魅力等の情報発信を強化する取組み	5.4%	23.2%	42.0%	24.8%	4.6%

各施策個別

【(1) 市政情報に関する総合アプリ(LINE等)を設け情報発信することで、市民が一元的に情報を収集することができる仕組みづくり】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 32.1%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	129	15.1%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	274	32.1%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	266	31.1%
他の分野に力を入れるべき	135	15.8%
未回答	50	5.9%



■クロス集計

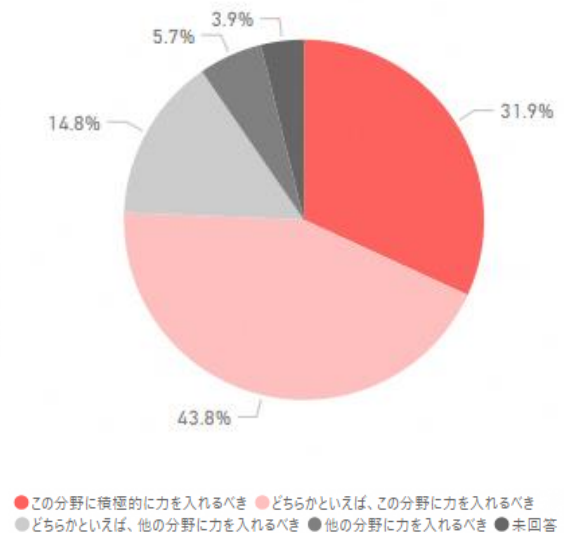
・「18～19 歳」の加重平均値が 2.95 で最も高く、「50～59 歳以上」の加重平均値が 2.41 で最も低い結果となりました。



【(2)市及び市関連ウェブページについて、高齢者や障害者の方などを含め誰もが利用しやすいように利便性の向上を図る取組み】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 43.8%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	272	31.9%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	374	43.8%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	126	14.8%
他の分野に力を入れるべき	49	5.7%
未回答	33	3.9%



■クロス集計

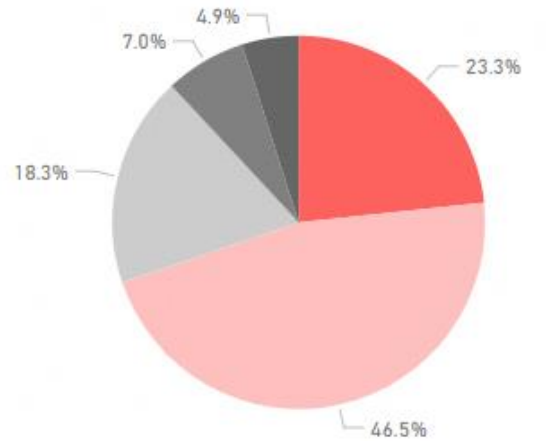
・「70 歳以上」の加重平均値が 3.20 で最も高く、「30～39 歳」の加重平均値が 2.86 で最も低い結果となりました。



【(3)ICT(情報通信技術)を活用して、妊娠期から子育て期までの情報を市が一元的に把握し、切れ目のない相談支援業務の充実を図る取組み】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 46.5%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	199	23.3%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	397	46.5%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	156	18.3%
他の分野に力を入れるべき	60	7.0%
未回答	42	4.9%



●この分野に積極的に力を入れるべき ●どちらかといえば、この分野に力を入れるべき
●どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき ●他の分野に力を入れるべき ●未回答

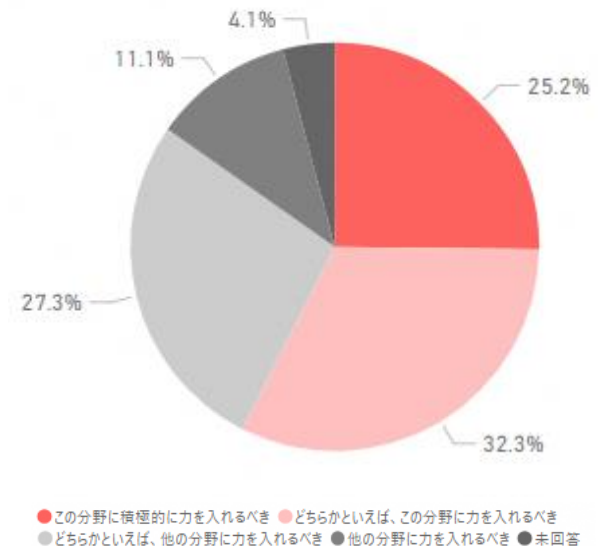
■クロス集計

・「20～29 歳」の加重平均値が 3.23 で最も高く、「70 歳以上」の加重平均値が 2.71 で最も低い結果となりました。



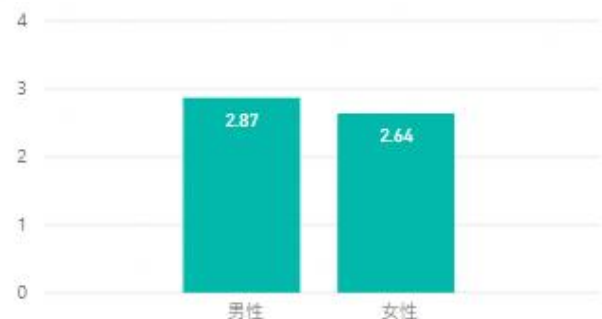
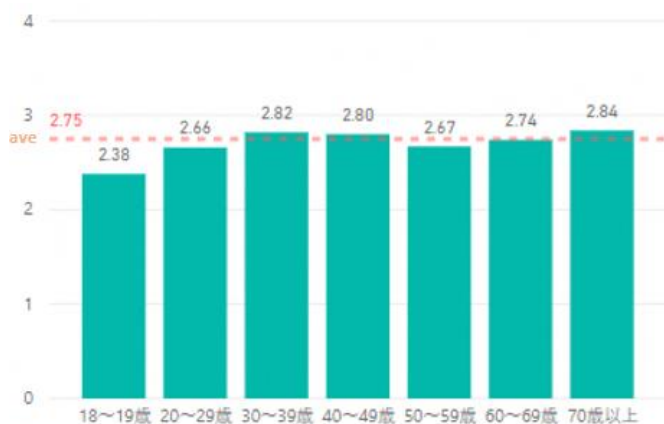
【(4)学校教育において、現在、一校当たり児童・生徒用のタブレットを40台設置しているが、さらにパソコンやタブレットなどの機器を導入し、ICT(情報通信技術)環境整備の充実を図る】
「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が32.3%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	215	25.2%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	276	32.3%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	233	27.3%
他の分野に力を入れるべき	95	11.1%
未回答	35	4.1%



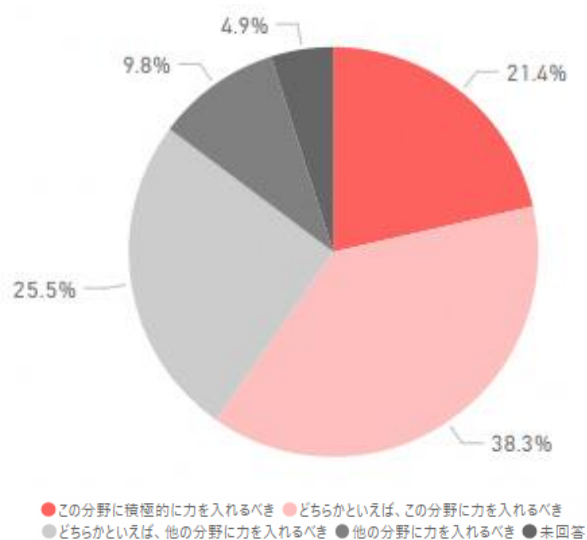
■クロス集計

・「70歳以上」の加重平均値が2.84で最も高く、「18～19歳」の加重平均値が2.38で最も低い結果となりました。



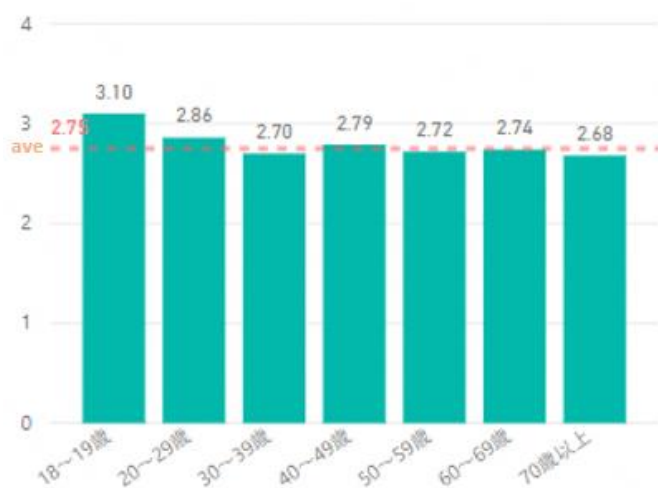
【(5) SNS を活用して、児童生徒からの相談・支援を受けることができる仕組みづくり】
「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 38.3%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	183	21.4%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	327	38.3%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	218	25.5%
他の分野に力を入れるべき	84	9.8%
未回答	42	4.9%



■クロス集計

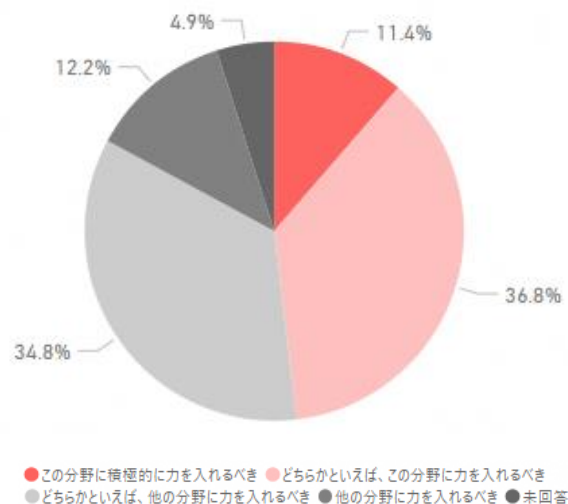
・「18～19 歳」の加重平均値が 3.10 で最も高く、「70 歳以上」の加重平均値が 2.68 で最も低い結果となりました。



【(6)これまでの地域自由大学などに関する情報発信に加え、生涯学習のポータルサイトを開設し、利用者が必要な情報をより簡単に入手できる仕組みづくり】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 36.8%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	97	11.4%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	314	36.8%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	297	34.8%
他の分野に力を入れるべき	104	12.2%
未回答	42	4.9%



■クロス集計

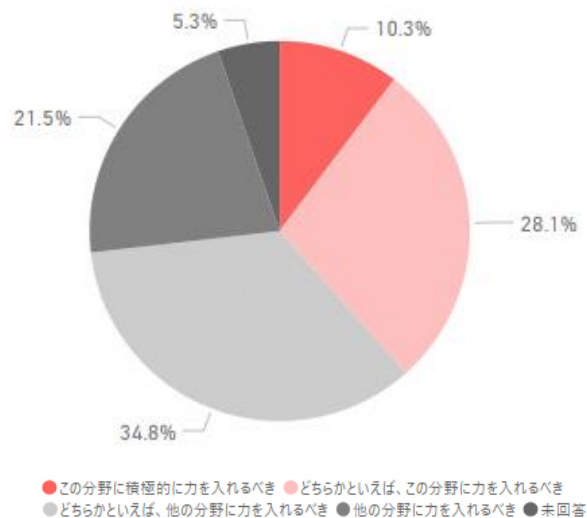
・「70 歳以上」の加重平均値が 2.70 で最も高く、「40～49 歳」の加重平均値が 2.42 で最も低い結果となりました。



【(7) 民俗資料・歴史公文書の公開資料について、デジタル化を進める取組み】

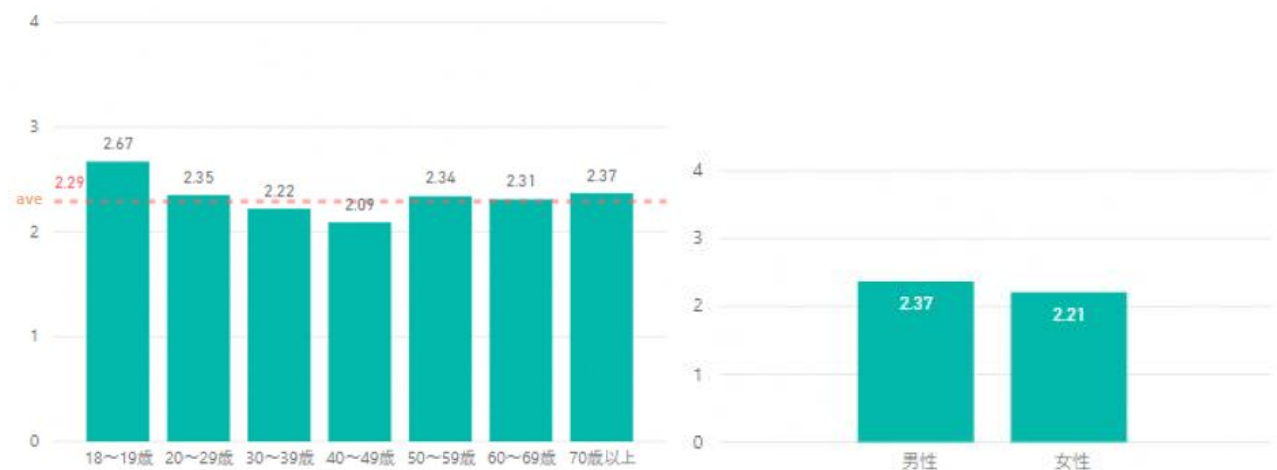
「どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき」が 34.8%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	88	10.3%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	240	28.1%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	297	34.8%
他の分野に力を入れるべき	184	21.5%
未回答	45	5.3%



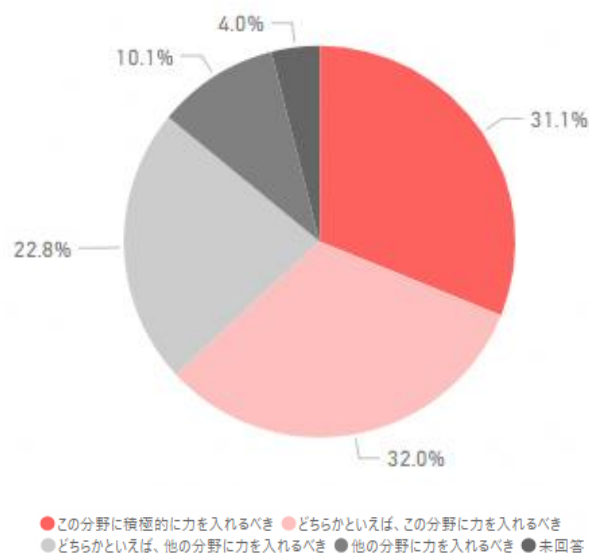
■クロス集計

・「18～19 歳」の加重平均値が 2.67 で最も高く、「40～49 歳」の加重平均値が 2.09 で最も低い結果となりました。



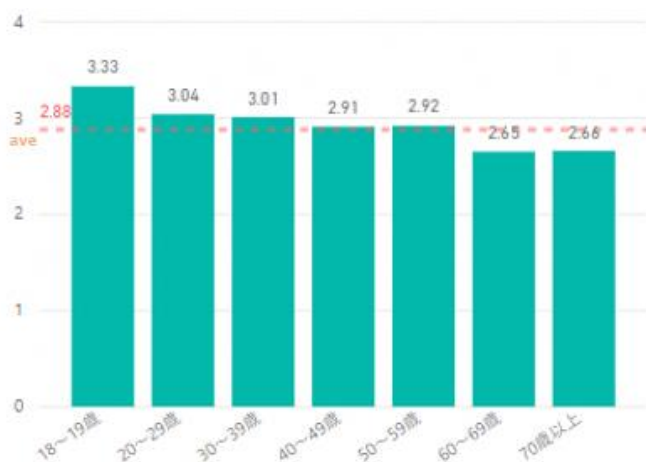
【(8)武蔵野プレイスや吉祥寺図書館だけでなく中央図書館にも館内 Wi-Fi 環境を導入し、全ての図書館で利用者が自分の情報通信機器を使って情報アクセスできる環境を整備する取組み】
「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 32.0%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	266	31.1%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	273	32.0%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	195	22.8%
他の分野に力を入れるべき	86	10.1%
未回答	34	4.0%



■クロス集計

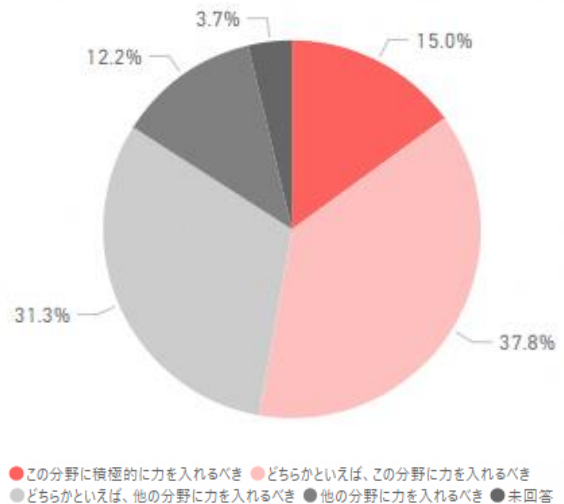
・「18～19 歳」の加重平均値が 3.33 で最も高く、「60～69 歳」の加重平均値が 2.65 で最も低い結果となりました。



【(9)クリーンセンターにおける ICT(情報通信技術)を使ったエネルギー効率の「見える化」の取組みを、他の公共施設においても実施することにより、環境に配慮したエネルギー利用をより可能とする仕組みづくり】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 37.8%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	128	15.0%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	323	37.8%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	267	31.3%
他の分野に力を入れるべき	104	12.2%
未回答	32	3.7%



■クロス集計

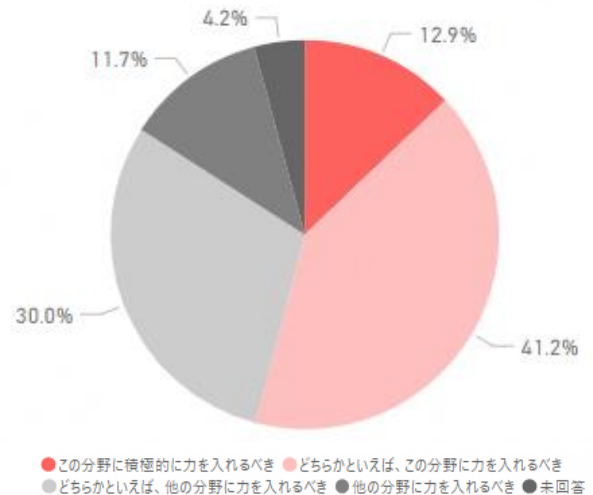
・「70 歳以上」の加重平均値が 2.76 で最も高く、「40～49 歳」の加重平均値が 2.44 で最も低い結果となりました。



【(10)新たな環境啓発施設を設置することから、現在実施しているホームページやごみアプリを使ったごみの減量、選別などの情報発信に加え、ICT(情報通信技術)を活用した環境情報の発信も充実していく取組み】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 41.2%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	110	12.9%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	352	41.2%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	256	30.0%
他の分野に力を入れるべき	100	11.7%
未回答	36	4.2%



■クロス集計

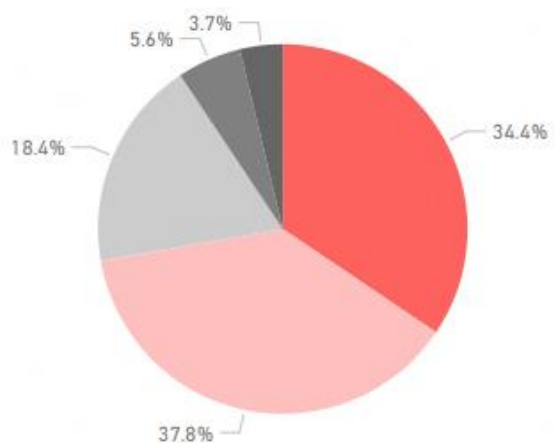
・「70 歳以上」の加重平均値が 2.89 で最も高く、「40～49 歳」の加重平均値が 2.40 で最も低い結果となりました。



【(11)通学路などの生活道路の安全性を高めるために、交通量などのデータを解析活用し、標識設置等の整備を行う取組み】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 37.8%で最も高い結果となりました。

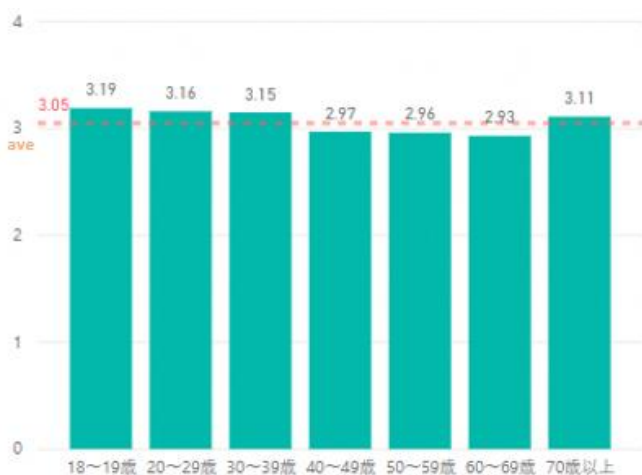
回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	294	34.4%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	323	37.8%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	157	18.4%
他の分野に力を入れるべき	48	5.6%
未回答	32	3.7%



● この分野に積極的に力を入れるべき ● どちらかといえば、この分野に力を入れるべき
● どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき ● 他の分野に力を入れるべき ● 未回答

■クロス集計

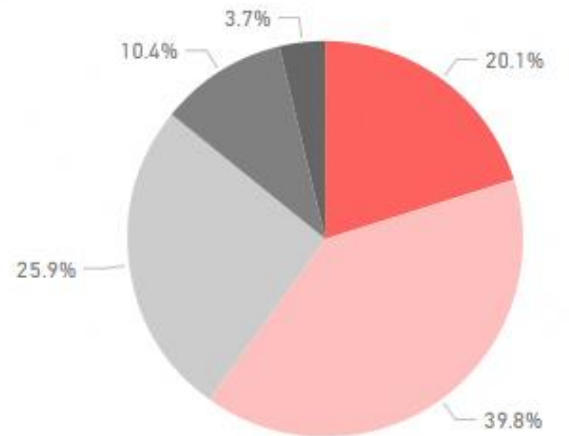
・「18～19 歳」の加重平均値が 3.19 で最も高く、「60～69 歳」の加重平均値が 2.93 で最も低い結果となりました。



【(12)道路や公園の遊具などにおける不具合について、SNS やアプリなどの ICT(情報通信技術)を使って、いつでも情報提供を受け、迅速に解決するための仕組みづくり】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 39.8%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	172	20.1%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	340	39.8%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	221	25.9%
他の分野に力を入れるべき	89	10.4%
未回答	32	3.7%



●この分野に積極的に力を入れるべき ●どちらかといえば、この分野に力を入れるべき
●どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき ●他の分野に力を入れるべき ●未回答

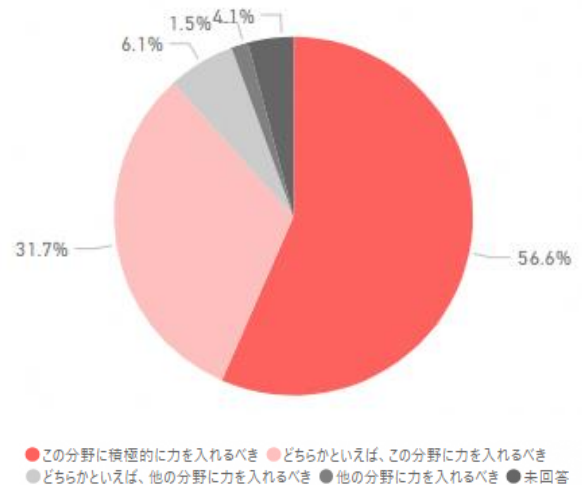
■クロス集計

・「70 歳以上」の加重平均値が 2.80 で最も高く、「50～59 歳」の加重平均値が 2.61 で最も低い結果となりました。



【(13)防災対策を強化するために、災害時の情報収集・発信のICT(情報通信技術)化を進める取組み】
「この分野に積極的に力を入れるべき」が 56.6%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	483	56.6%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	271	31.7%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	52	6.1%
他の分野に力を入れるべき	13	1.5%
未回答	35	4.1%



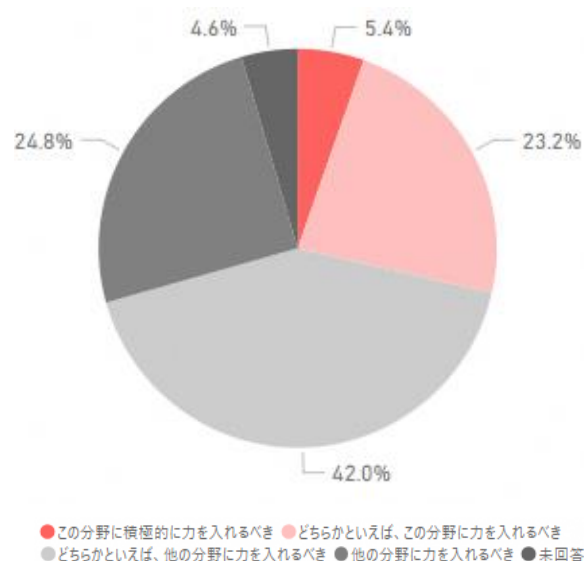
■クロス集計

・「40～49 歳」の加重平均値が 3.58 で最も高く、「60～69 歳」の加重平均値が 3.36 で最も低い結果となりました。



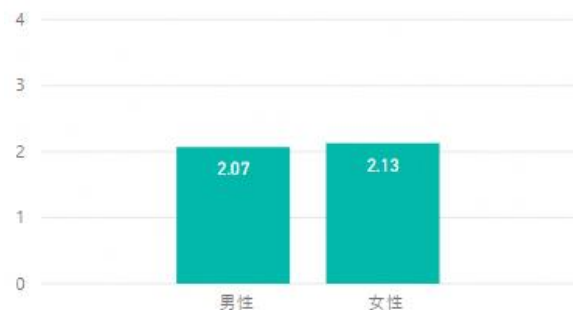
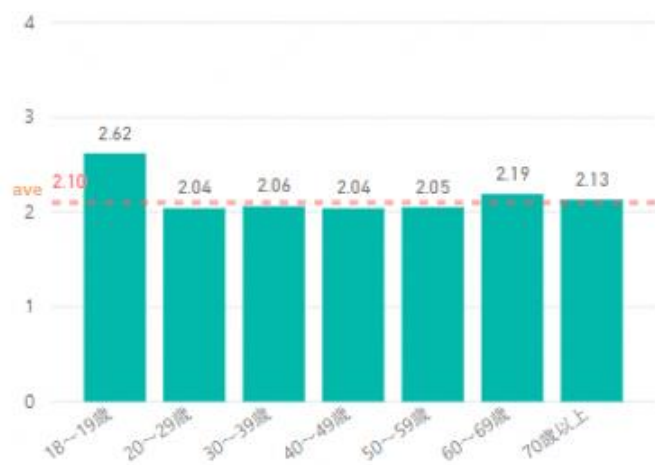
【(14)オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、まちの魅力等の情報発信を強化する取組み】
「どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき」が 42.0%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	46	5.4%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	198	23.2%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	359	42.0%
他の分野に力を入れるべき	212	24.8%
未回答	39	4.6%



■クロス集計

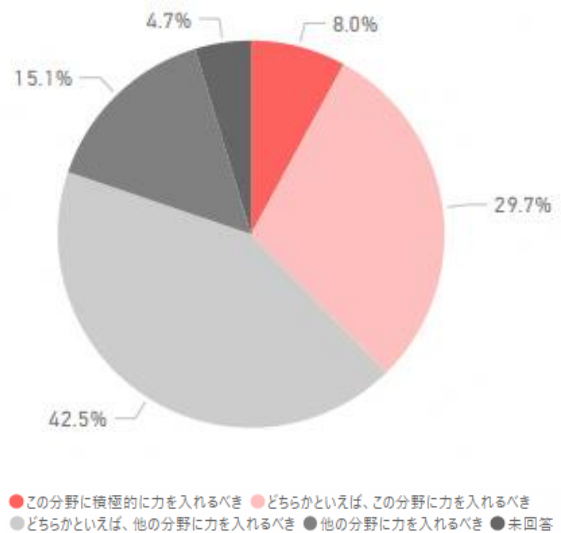
・「18～19 歳」の加重平均値が 2.62 で最も高く、「20～29 歳」、「40～49 歳」の加重平均値が 2.04 で最も低い結果となりました。



【(15)市の統計情報(人口、世帯数、商業・工業統計など)に関するオープンデータを拡大し、誰でも容易に収集・活用できるようにする取組み】

「どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき」が 42.5%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	68	8.0%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	254	29.7%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	363	42.5%
他の分野に力を入れるべき	129	15.1%
未回答	40	4.7%



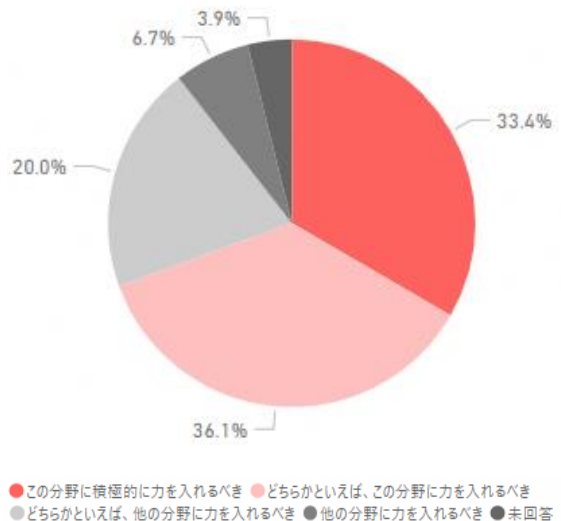
■クロス集計

・「18～19 歳」の加重平均値が 2.52 で最も高く、「50～59 歳」の加重平均値が 2.25 で最も低い結果となりました。



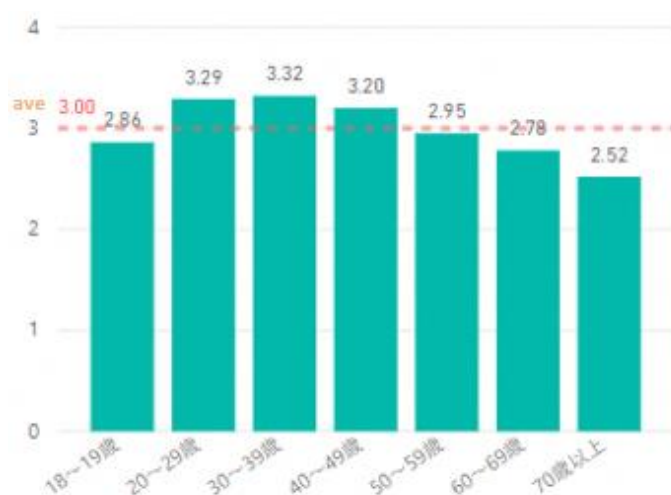
【(16)市役所の窓口などでICT(情報通信技術)を活用し、紙による申請からタブレット等による申請に変更することで手続きの簡易化を図ったり、混雑状況をインターネットで把握できる仕組みづくり】
「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 36.1%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	285	33.4%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	308	36.1%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	171	20.0%
他の分野に力を入れるべき	57	6.7%
未回答	33	3.9%



■クロス集計

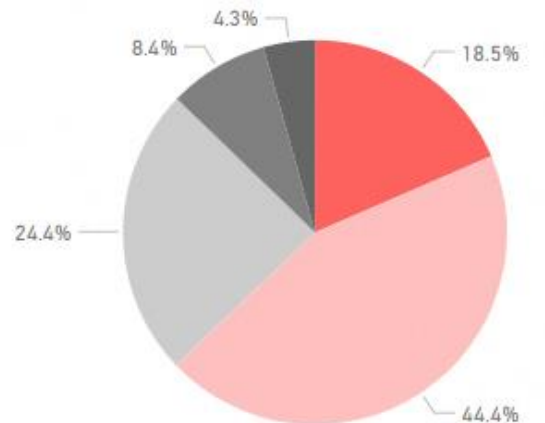
・「30～39 歳」の加重平均値が 3.32 で最も高く、「70 歳以上」の加重平均値が 2.52 で最も低い結果となりました。



【(17)外国語通訳サービスを導入し、市役所の窓口などで外国人とのコミュニケーションを取りやすくする
取組み】

「どちらかといえば、この分野に力を入れるべき」が 44.4%で最も高い結果となりました。

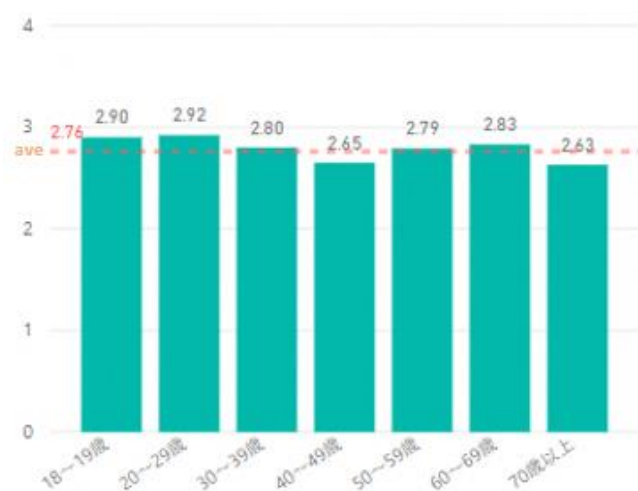
回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	158	18.5%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	379	44.4%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	208	24.4%
他の分野に力を入れるべき	72	8.4%
未回答	37	4.3%



●この分野に積極的に力を入れるべき ●どちらかといえば、この分野に力を入れるべき
●どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき ●他の分野に力を入れるべき ●未回答

■クロス集計

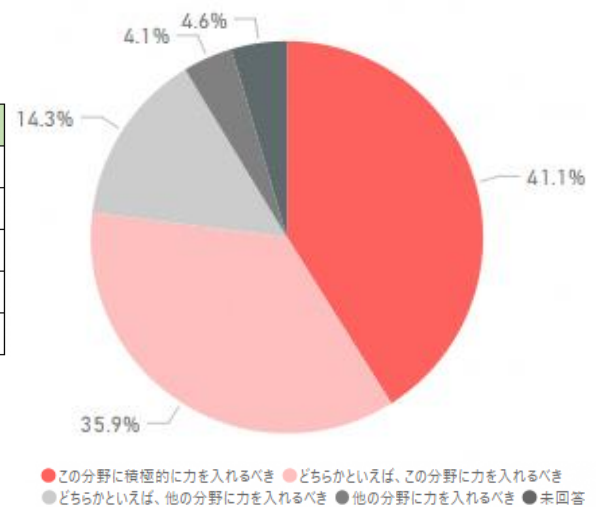
「20～29 歳」の加重平均値が 2.92 で最も高く、「70 歳以上」の加重平均値が 2.63 で最も低い結果となりました。



【(18-1)児童手当の現況届の申請が自宅のパソコンからできるのと同じように、自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きを行うことのできる仕組みづくり】

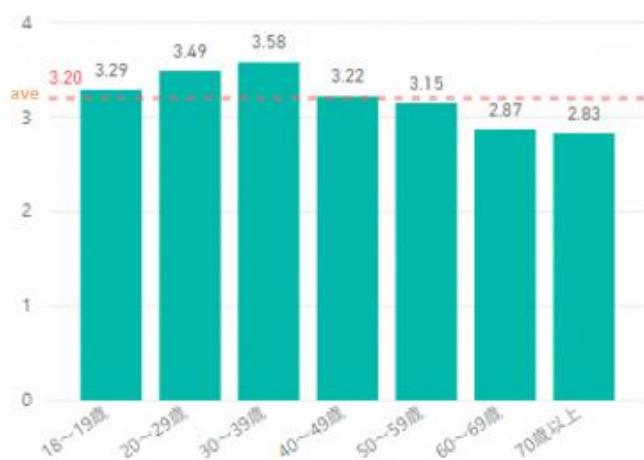
「この分野に積極的に力を入れるべき」が 41.1%で最も高い結果となりました。

回答	回答数	割合
この分野に積極的に力を入れるべき	351	41.1%
どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	307	35.9%
どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	122	14.3%
他の分野に力を入れるべき	35	4.1%
未回答	39	4.6%



■クロス集計

「30～39 歳」の加重平均値が 3.58 で最も高く、「70 歳以上」の加重平均値が 2.83 で最も低い結果となりました。



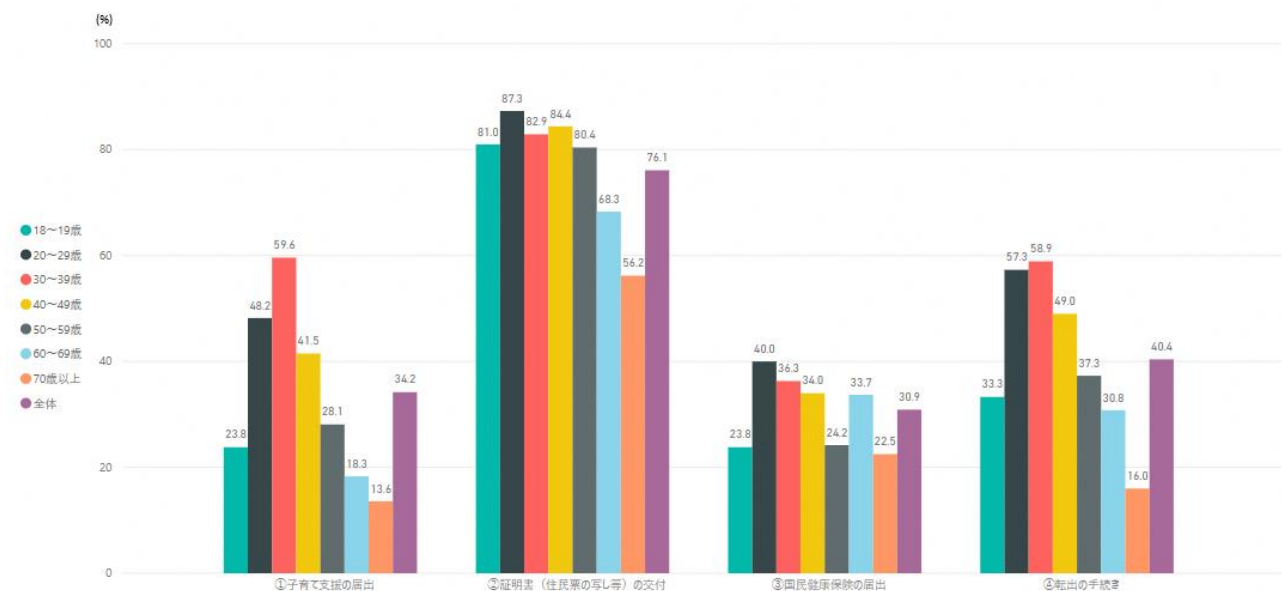
【(18-2) 自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きが可能になると便利だと感じるものはどれですか。】

「②証明書(住民票の写し等)の交付」が 76.0%で最も高い結果となりました。

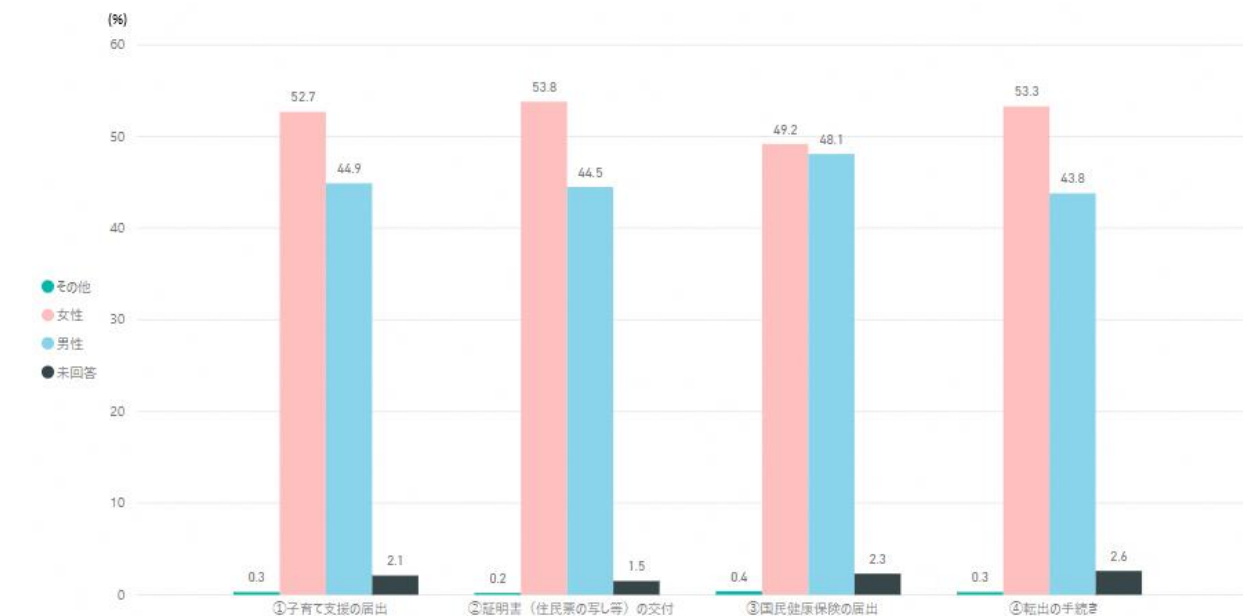


■クロス集計

「20～29 歳」、「30～39 歳」がすべての申請手続きにおいて高い結果となりました。



「女性」がすべての申請手続きにおいて高い結果となりました。



～ I C T（情報通信技術）を利用したまちづくり～ アンケートにご協力をお願いします

調査ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対するご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

今年度、武蔵野市では、「武蔵野市第六期長期計画（計画期間令和2年度～令和11年度）」を策定し、合わせて、本市のICT（情報通信技術）に関係する施策の方向性を示す「武蔵野市第六次総合情報化基本計画（計画期間令和2年度～令和4年度）」も策定いたします。

その中で、市民の皆様の生活の利便性向上などを目的とした様々な取組みについて検討しているところですが、ロボット技術やAIなどの先進技術の発展により、暮らしのスタイルは日々変化し、また、デジタル手続法の成立によって、ICT（情報通信技術）活用への取組みが強く求められています。

このアンケート調査は、「第六次総合情報化基本計画」の策定に当たって、「利便性向上のための取組み」、「特に重点的に取組むべき分野」を議論していく上で、市の取組みに対するお考えやご意見をお聞きし、今後のICT（情報通信技術）を使ったまちづくりの方向性や課題、限りある財源の中で優先的に力を入れるべき施策を検討するために実施するものです。

なお、調査にあたりましては、18歳以上の市民の皆様の中から約3,000人を幅広い年齢層から無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。ご記入いただいた内容については、全て統計的に処理し、個人に関する情報を公表したり、本調査以外の目的で使用することは決してございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

令和元年7月

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、統計的な処理が目的であり、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしません。
2. 令和元年7月1日現在の状況について、ご記入ください。

<調査に関するお問い合わせ先>

武蔵野市総務部情報管理課

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28（本庁舎西棟6階）

電話番号：0422-60-1805

ファクス番号：0422-51-9149

e-mail：sec-jyouhou@city.musashino.lg.jp

※電話でのお問い合わせは、平日8時30分～17時15分、FAXは24時間受付致します。

8月5日（月）までに

同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、郵便ポストへ投函してください。

1. 基礎情報

問1 性別をお答えください。【あてはまるものひとつだけに○をつけて下さい。】

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 年齢をお答えください。【あてはまるものひとつだけに○をつけて下さい。】

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 |
| 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | |

問3 日常生活で利用しているものをお答えください。【あてはまるものすべてに○をつけて下さい。】

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. パソコン | 2. スマートフォン |
| 3. インターネット | 4. テレビ |
| 5. タブレット型端末(電子書籍端末含む) | 6. スマートフォン以外の携帯電話 |

問4 武蔵野市が提供している広報媒体のうち、あなたがよく利用されるものはどれですか。【あてはまるものすべてに○をつけて下さい。】

- | |
|---|
| 1. 武蔵野市ホームページ |
| 2. 市報むさしの |
| 3. メール配信 |
| 4. 広報掲示板 |
| 5. 季刊むさしの |
| 6. 武蔵野市 わたしの便利帳 |
| 7. 広報テレビ番組(「むさしのシティニュース」) |
| 8. 広報ラジオ番組(「マイシティむさしの」) |
| 9. 武蔵野市ソーシャルメディア(「Twitter」「YouTube」「Facebook」) |
| 10. 地域ポータルサイト(「TAMA ebooks 多摩地域電子書籍ポータルサイト」「むさしのコミねっと」「ゲータタイム吉祥寺」「ホームタウン吉祥寺」) |
| 11. 安全・安心情報(「むさしの防災・安全メール」「むさしの学校緊急メール」など) |
| 12. 武蔵野市動画チャンネル |
| 13. その他 |
| 14. いずれも利用していない |

問5 情報化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。【あてはまるものすべてに○をつけて下さい。】

- | | |
|--|--------------|
| 1. 必要な情報が入手しやすくなる | 2. 生活が便利になる |
| 3. 人と人との交流が多くなる | 4. 仕事がしやすくなる |
| 5. 地域経済が豊かになる | |
| 6. 情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる | |
| 7. 情報が氾濫し、取捨選択が困難になる | |
| 8. 人と人とのふれあいが少なくなる | |
| 9. 機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する | |
| 10. 個人情報流出やプライバシーの侵害、コンピュータウイルスなどの危険性がある | |
| 11. コンピュータの事故などにより、社会的混乱が生じる | |
| 12. 特に心配なことはない | |
| 13. その他【 | 】 |

2. 重点的に取り組むべき情報化施策

問6 今後、市の財政も厳しさを増すことが予想されます。限りある財源の中で、あなたは今後どの分野の情報化に力を入れていくべきだとお考えですか。【(1)～(19)の項目ごとに、①～④のうち、1つだけに○をつけて下さい。】

質問項目		④ この分野に積極的に力を入れるべき	③ どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	② どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	① 他の分野に力を入れるべき
記入例	×××××××××	④	③	②	①
市政一般	(1) 市政情報に関する総合アプリ(LINE等)を設け情報発信することで、市民が一元的に情報を収集することができる仕組みづくり	④	③	②	①
健康・福祉	(2) 市及び市関連ウェブページについて、高齢者や障害者の方などを含め誰もが利用しやすいように利便性の向上を図る取り組み	④	③	②	①
子ども・教育	(3) ICT(情報通信技術)を活用して、妊娠期から子育て期までの情報を市が一元的に把握し、切れ目のない相談支援業務の充実を図る取り組み	④	③	②	①
	(4) 学校教育において、現在、一校当たり児童・生徒用のタブレットを40台設置しているが、さらにパソコンやタブレットなどの機器を導入し、ICT(情報通信技術)環境整備の充実を図る取り組み	④	③	②	①
	(5) SNSを活用して、児童生徒からの相談・支援を受けることができる仕組みづくり	④	③	②	①
	(6) これまでの地域自由大学などに関する情報発信に加え、生涯学習のポータルサイトを開設し、利用者が必要な情報をより簡単に入手できる仕組みづくり	④	③	②	①
	(7) 民俗資料・歴史公文書の公開資料について、デジタル化を進める取り組み	④	③	②	①
	(8) 武蔵野プレイスや吉祥寺図書館だけでなく中央図書館にも館内Wi-Fi環境を導入し、全ての図書館で利用者が自分の情報通信機器を使って情報アクセスできる環境を整備する取り組み	④	③	②	①
緑・環境	(9) クリーンセンターにおけるICT(情報通信技術)を使ったエネルギー効率の「見える化」の取り組みを、他の公共施設においても実施することにより、環境に配慮したエネルギー利用をより可能とする仕組みづくり	④	③	②	①
	(10) 新たな環境啓発施設を設置することから、現在実施しているホームページやごみアプリを使ったごみの減量、選別などの情報発信に加え、ICT(情報通信技術)を活用した環境情報の発信も充実していく取り組み	④	③	②	①

質問項目		④	③	②	①
		この分野に積極的に力を入れるべき	どちらかといえば、この分野に力を入れるべき	どちらかといえば、他の分野に力を入れるべき	他の分野に力を入れるべき
都市 基盤	(11) 通学路などの生活道路の安全性を高めるために、交通量などのデータを解析活用し、標識設置等の整備を行う取組み	④	③	②	①
	(12) 道路や公園の遊具などにおける不具合について、SNS やアプリなどの ICT(情報通信技術)を使って、いつでも情報提供を受け、迅速に解決するための仕組みづくり	④	③	②	①
文化・ 市民 生活	(13) 防災対策を強化するために、災害時の情報収集・発信の ICT(情報通信技術)化を進める取組み	④	③	②	①
	(14) オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、まちの魅力等の情報発信を強化する取組み	④	③	②	①
	(15) 市の統計情報(人口、世帯数、商業・工業統計など)に関するオープンデータを拡大し、誰でも容易に収集・活用できるようにする取組み	④	③	②	①
	(16) 市役所の窓口などで ICT(情報通信技術)を活用し、紙による申請からタブレット等による申請に変更することで手続きの簡易化を図ったり、混雑状況をインターネットで把握できる仕組みづくり	④	③	②	①
	(17) 外国語通訳サービスを導入し、市役所の窓口などで外国人とのコミュニケーションを取りやすくする取組み	④	③	②	①
	(18-1) 児童手当の現況届の申請が自宅のパソコンからできるのと同じように、自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きを行うことのできる仕組みづくり	④	③	②	①
	(18-2) 自宅のパソコンやスマートフォンなどから、行政サービスの申請手続きが可能になると便利だと感じるものはどれですか。【あてはまるものすべてに○をつけて下さい。】 ①子育て支援の届出 ②証明書(住民票の写し等)の交付 ③国民健康保険の届出 ④転出の手続き ⑤その他【				
自由 記載欄	(19) その他、市の情報化に関する取組みについて、ご意見がありましたらご記入ください。(自由記載)				

「武蔵野市第六次総合情報化基本計画」策定にあたっての市民アンケート結果

発行年月：令和元年（2019年）8月発行

発行者：武蔵野市総務部情報管理課